

平成30年度（2018年度）
大学院学生募集要項

博士前期課程・修士課程	
文学研究科	
日本語日本文学専攻	博士前期課程
英語英米文学専攻	修士課程
社会文化学専攻	修士課程
人間生活学研究科	
人間発達学専攻	修士課程
人間発達学コース	
臨床心理学コース	
食品栄養学専攻	修士課程
人間生活学専攻	修士課程
博士後期課程	
文学研究科	
日本語日本文学専攻	博士後期課程
人間生活学研究科	
人間複合科学専攻	博士後期課程

ノートルダム清心女子大学大学院

目 次

災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者への対応	1
試験当日に災害や公共交通機関の遅れ等が発生した場合への対応	1
個人情報に関する取扱について	2
博士前期課程・修士課程	3
博士後期課程	51

災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者への対応

災害に遭われた被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

本学では、災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者に対し、経済的支援を図るため、申し出により入学検定料等に対する特別措置を講じています。

該当する方で、特別措置を希望する場合は、所定の手続が必要となりますので、入試広報部までお申し出、御相談ください。

1. 対象者

災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者で以下に該当する方を対象とします。

- (1) 災害によりご父母のいずれかが亡くなられた方。
- (2) 家計支持者がご父母以外の場合、災害により家計支持者が亡くなられた方。
- (3) 災害によりご父母のいずれかが負傷され、入院し、長期加療が必要な方。
- (4) 家計支持者がご父母以外の場合、災害により家計支持者が負傷され、入院し、長期加療が必要な方。
- (5) 災害により家計支持者の居住する家屋が消失した場合、または、損壊により引き続き同家屋に居住することが困難と認められる方。
- (6) その他災害により学費支弁が著しく困難となったと認められる方。

2. 特別措置

○ 入学試験の志願者

災害救助法適用日から1年以内に実施の入学試験の入学検定料を全額免除します。

なお、すでに入学検定料を納入されている場合には返還いたしません。

3. 必要書類

- (1) 被災者特別措置申請書（本学所定用紙）
- (2) 被災状況証明書等（「死亡診断書」「診断書」「罹災証明書」等）
- (3) 入学検定料返還金振込先金融機関届（既に入学検定料を納入済みの方）（本学所定用紙）

4. 申請期限および審査結果通知等

- (1) 原則として、当該入学試験の出願期間開始日までに、必要書類をノートルダム清心女子大学入試広報部まで提出してください。申請書類に基づき審査を行い、結果を申請書記載の本人連絡先住所に文書で送付します。（特別措置の適用は、審査により決定いたしますので、被災の程度によっては適用を受けられないことがあります。）
- (2) 上記申請期限以降でも被災者特別措置申請の受付を行います。また、すでに入学検定料等を納められた場合でも返還に応じます。ただし、当該入学試験の出願期間・手続期間の延長は行いません。

試験当日に災害や公共交通機関の遅れ等が発生した場合への対応

- (1) 原則として試験を実施し、必要な場合には試験時間の繰り下げをおこないません。警報等が発令された場合も、原則として試験を実施します。
- (2) 万一、災害や公共交通機関の不通のために不可抗力によって受験できない方がいる場合は、代替措置をとることがあります。
- (3) 試験当日に交通遅延等が発生した場合、判定通知日が延期される場合があります。
- (4) 上記の(2)、(3)による例外的措置をとる場合は、本学ホームページでお知らせします。

<http://www.ndsu.ac.jp/>

個人情報に関する取扱いについて

本学では、志願者・合格者・入学者からの提出書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」の趣旨に添って厳格に取り扱います。また、「ノートルダム清心女子大学個人情報の保護に関する規則」に基づき、皆さんの個人情報の保護に万全を期しますので、御理解・御協力の程よろしくお願いいたします。

I 利用目的について

1. 出願時に提出された書類等について

入学者選抜の基礎資料，入学制度と広報活動の評価・分析及び入学後の学籍管理・教育指導等の基礎データとするため

2. 入学手続時及び手続完了後に提出された書類等について

- 誓約書
本学学生としての意思確認をするため
- 卒業証明書等
入学資格確認のため
- 住民票記載事項証明書
学籍簿作成及び各種証明書等交付のための基礎資料とするため
- 学生証用写真貼付カード
学生証発行データ及び学籍管理システムの基礎データとするため
- 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険関係書類
保険加入手続き及び加入状況管理のため

3. 入学時に提出される書類等について

- 学生カード
学生指導等の資料及び入学後の本人・保護者（保証人）等への連絡のため
- 学生名簿用原稿
学生名簿作成及び学籍管理システムの基礎データとするため
- 健康調査票
健康管理の基礎資料とするため

4. その他

- 健康記録（定期健康診断実施時）
健康管理の基礎資料及び健康診断書の証明データとするため
- 奨学金関係書類
各種奨学金申請・給付・支給等の業務を行うため

II 第三者提供等について

1. 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入申込情報は，公益財団法人日本国際教育支援協会等に提供します。
2. 健康記録については，在学中に病気又は傷害等を負った場合，必要に応じて医療機関に提供することがあります。提出していただいた個人情報は，業務の一部（学生証発行等）を委託する場合に，委託先事業者へ提供することがあります。この場合，本学及び事業者は法令及び契約に則り，適切に個人情報を取扱うものとします。

III 個人情報の取扱い等について

個人情報の取扱い等については，学務部学生係にお問い合わせください。
学務部学生係 TEL 086-252-5039（直通）

博士前期課程・修士課程

目 次

学生募集要項	5
募集人員	5
一般選抜	5
出願資格	5
出願書類, 試験科目	6
社会人特別選抜	8
出願資格, 出願書類	8
試験科目	9
外国人留学生選抜	10
各選抜共通事項	10
研究テーマ・内容等に関する事前相談, 出願期間, 出願方法	10
選考方法, 試験日, 試験場, 試験当日に関する注意事項	11
判定通知, 入学手続	12
学費等納入金, 学位の授与	14
取得免許・資格, 長期履修制度	15
奨学金制度等	16
大学院の紹介	17
文学研究科の概要と特色	17
日本語日本文学専攻博士前期課程	18
英語英米文学専攻	22
社会文化学専攻	26
人間生活学研究科の概要と特色	31
人間発達学専攻人間発達学コース	32
人間発達学専攻臨床心理学コース	38
食品栄養学専攻	43
人間生活学専攻	47

社会人特別選抜

1. 出願資格

次の資格を備えた女子

「一般選抜」における出願資格の(1)～(7)又は(9)のいずれかに該当し、かつ、入学時に25歳以上である者

2. 出願書類

1.	入学志願票	本大学院所定の用紙 上半身、正面、背景なし、3か月以内撮影、縦4cm×横3cmの写真（同じもの。カラー、白黒いずれでもよい）を志願票と写真票に貼付すること
2.	卒業証明書又は卒業見込証明書	出願資格にかかわるもので、厳封されたもの
3.	成績証明書	出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの
4.	卒業論文・卒業演奏・卒業制作等の要旨又はこれに相当するもの	本大学院所定の様式に従って作成すること ※要旨等を記入できない場合はその理由を記入すること
5.	研究計画書	本大学院所定の様式に従い、志願の動機、目的及び入学後の研究計画を記入したもの
6.	受験科目選定申告書	本大学院所定の用紙（該当する志願者のみ）
7.	長期履修申請書	本大学院所定の用紙（該当する志願者のみ）
8.	長期履修計画書	本大学院所定の用紙（該当する志願者のみ）

《備考》

- ・ 現職教員にあつては、筆記試験のうち専門科目試験の一部又は全部を研究業績（公刊物）の審査によって代替することができます。

なお、食品栄養学専攻を受験する者のうち、現職教員、栄養士又は栄養士関連業務に就いている者にあつては、筆記試験（小論文、専門科目）の一部又は全部を研究業績（公刊物）の審査によって代替することができます。

審査を希望する者は、秋季試験は、平成29年（2017年）7月21日（金）、春季試験は、平成29年（2017年）12月26日（火）までに入試広報部へお問い合わせのうえ、審査を受けてください。

- ・ 現職教員等で、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の適用を受けようとする者は、入試広報部へお問い合わせください。

※ 大学院設置基準第14条では、教育方法の特例として①「夜間」、②「特定の時間」、③「特定の時期」に教育を行うことができると規定しています。本大学院では、①「夜間」及び③「特定の時期」には教育を行っていませんが、②「特定の時間」について適用する場合があります。この「特定の時間」の適用の内容は、次のとおりとなっています。

☆ その内容は、学生が課程修了の要件として必要な科目を履修する際に、教員が授業又は研究指導の時間を学生の都合に合わせて調整するものです。

☆ なお、人間発達学専攻臨床心理学コース及び食品栄養学専攻の1年次は、フルタイムの修学とし、有職者は1年間の研修命令又は休職等の措置を講ずるよう義務付けています。ただし、長期履修制度を利用する場合にはこれは適用されません。

☆ 人間発達学専攻臨床心理学コースでは、長期履修制度を利用する場合でも、大学院設置基準第14条の教育方法の特例としての「特定の時間」は適用していません。

3. 試験科目

(1) 文学研究科

試験	専攻	課程	試験科目 時間	科目名	配点
筆記試験	日本語日本文学専攻	博士前期課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 日本文学, 日本語学の2領域とも必答 問題B 古代中世文学, 近世近代文学, 日本語学の3研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択	200点
	英語英米文学専攻	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A イギリス文学, アメリカ文学, 英語学言語学から2科目を選択 問題B イギリス文学, アメリカ文学, 英語学言語学の3研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択 ※辞書持ち込み不可	200点
	社会文化学専攻	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 社会学, 人文地理学, 日本史, アジア史, ヨーロッパ史, 日本民俗学, 考古学のうちから2科目を選択 ※問題Aでは, 各科目の基礎的な知識を問う 問題B 社会学, 日本史, アジア史, ヨーロッパ史, 日本民俗学, 考古学のうちから1科目を出願時に選択 (社会学志望者は社会学, 日本社会史志望者は日本史, アジア社会史志望者はアジア史, ヨーロッパ社会史志望者はヨーロッパ史, 日本民俗学志望者は日本民俗学, 考古学志望者は考古学を選択すること) ※問題Bでは, 各科目の専門的な内容を問う	200点
面接試験	13:00～				

(2) 人間生活学研究科

試験	専攻・コース	課程	試験科目 時間	科目名	配点
筆記試験	人間発達学専攻 人間発達学コース	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	発達基礎論, 発達支援論の2研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択	100点
	人間発達学専攻 臨床心理学コース	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 臨床心理学 (必答) 問題B 発達心理学, 心理学研究法, 障害児心理学のうち1科目を選択	100点
	食品栄養学専攻	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	生理学, 公衆衛生学, 臨床栄養学, 栄養学, 食品学, 栄養教育論, 食品衛生学, 臨床医学のうち2科目を選択	200点
	人間生活学専攻	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	人間社会論, 生活経営論, 生活環境論の3研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択	200点
面接試験	13:00～				

外国人留学生選抜

外国人留学生については、特別入試も行っています（秋季のみ）。

希望者は、本学入試広報部にお問い合わせください。

各選抜共通事項

1. 研究テーマ・内容等に関する事前相談

博士前期課程・修士課程志願者は、研究テーマ・内容等について、出願前に本学大学院担当教員に事前相談することができます。

事前相談を希望する場合は、入試広報部宛に、E-mail（メールアドレスは、裏表紙参照）でお問い合わせください。

2. 出願期間

〈秋季〉平成29年（2017年）8月21日（月）～8月30日（水）消印有効

〈春季〉平成30年（2018年）2月1日（木）～2月13日（火）消印有効

[注] 海外からの出願は、期間内必着とします。

3. 出願方法

(1) 入学検定料 30,000円

① 志願票一連のつづりは、切り離さないで必要事項を記入し金融機関へ持参してください。

② 入学検定料は、金融機関窓口（ゆうちょ銀行は不可）から振り込み納入してください。ATMやインターネットバンキングなどで振り込みをされた場合は、提出書類等に取扱店収納印が押されないため、書類を受理することができません。

③ **振り込んだ後、A・C票に取扱店収納印があることを確認してください。**

④ C票は領収書なので大切に保管してください。

(2) 前記書類を取り揃え、ノートルダム清心女子大学入試広報部宛に郵送（簡易書留速達）又は持参してください。

(3) 出願書類を持参する場合の受付時間は、8:30～16:30です。（土曜、日曜、祝日、本学休業日を除く。春季は土曜日も12:30まで受け付けています。）

《受付》ノートルダム清心女子大学 入試広報部

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9

TEL 086-255-5585（直通）

(4) **出願後の志望研究科・専攻（コース）、課程及び選択受験科目の変更は一切認めません。**

(5) 受験票は、出願締切後本人宛に発送します。

（秋季は9月6日頃、春季は2月20日頃一括して投函する予定です。）

※ 受験票には、志望研究科・専攻（コース）、課程、受験番号、氏名（カナ）等が記載されています。記載内容や住所表示が異なる場合は、直ちに入試広報部までお問い合わせください。

○ **いったん提出された出願書類及び入学検定料は、いかなる場合も返却しません。**

(6) 身体に障害を有する入学志願者との事前相談

身体に障害（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）がある者には、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願開始日の1週間前（秋季試験の場合は、平成29年（2017年）8月7日(月)）までに、本学入試広報部にお申し出ください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できる限り早い時期に御相談ください。

(7) 出願後の受験上の配慮

出願後に不慮の事故等（交通事故、発病等）のため受験上の配慮を希望する者は、速やかに本学入試広報部にお問い合わせください。

なお、申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮が行えないこともありますので、御了承ください。

4. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 筆記試験（各専攻別）
- (3) 面接試験

5. 試験日

〈秋季〉平成29年（2017年）9月19日(火)

〈春季〉平成30年（2018年）3月1日(木)

6. 試験場

ノートルダム清心女子大学（裏表紙 大学案内図参照）

7. 試験当日に関する注意事項

- (1) 自家用車の乗り入れを禁止します。
- (2) 試験当日は、正門から建物に入ってください。
- (3) 受付（正面玄関、8:30～8:40）で出席確認後、8:45までには試験室へ入室してください。
- (4) 注意事項

①試験時間中、机の上に置けるものは、「受験票」と次のものだけです。

- ・黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは使用できません。）、シャープペンシル、消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）
- ・時計（辞書や電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）
- ・眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬
- ・辞書（持ち込みが認められている試験のみ）

②試験時間中、「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「ICレコーダー」「腕時計型端末」等の電子機器類は使用できません。

〈春季〉

区 分	手 続 期 間
一 括 手 続	平成30年(2018年)3月6日(火)～3月16日(金) 消印有効

[注] 海外からの入学手続は、期間内必着とします。

- 一括手続の入学手続金は、前記第1次手続と第2次手続の合計です。
- 入学手続金振込用紙は、一連となっています。切り離さないで必要事項を記入して、金融機関窓口（ゆうちょ銀行は不可）から振り込み納入してください。ATM やインターネットバンキングなどで振り込みをされた場合は、提出書類等に取扱店収納印が押されないため、書類を受理することができません。
- 第2次手続又は一括手続では、振り込んだ後、提出書類（誓約書）の取扱店収納印を確かめて、本学入試広報部へ郵送又は持参してください。
- 書類を郵送する場合は、速達としてください。
- 書類を持参する場合の受付時間は、8:30～16:30です。（日曜、祝日、本学休業日を除く。土曜日は12:30まで）
- ※ 手続き期間内の日曜・祝日を除く本学休業日・入学試験実施日等は、次のとおりです。
12月8日(金)、12月29日(金)～1月4日(木)、1月13日(土)、
1月24日(水)～1月26日(金)、2月16日(金)、3月1日(木)
- 前記第2次手続または一括手続が完了した場合は、入学許可書を本人宛に郵送します。
- 第1次手続のみ終了した時点では、本学から送付する書類はありません。領収書は大切に保管してください。
- 所属長の同意書は、第2次手続または一括手続締切日から1週間以内に、提出してください。
- (5) 入学辞退者への納付金返還に係る対応について
平成30年度(2018年度)の大学院入学試験（一般選抜・社会人特別選抜）による第2次手続もしくは一括手続完了後の入学辞退者には、次のように対応します。
 - ①納入された学費等は返還しません。ただし、次の期間に本学が定める手続により入学を辞退した場合に限り、入学金を除く学費等（授業料、施設・設備費）は、それに相当する額を返還します。
 - 1) 郵送の場合は、簡易書留速達郵便で平成30年(2018年)3月31日(土)の消印有効。
 - 2) 本学入試広報部に持参の場合は、平成30年(2018年)3月31日(土)12:30まで。
 - ②平成30年(2018年)4月1日(日)以降に辞退した場合には、学費等納入金は返還しません。
 - ③納付金返還を希望する者は、「入学辞退届・学費等返還金振込先金融機関届」に必要事項を記入し、第2次手続もしくは一括手続完了者に送付される「入学許可書」を添え、入試広報部へ提出してください。
- 返還手続に必要な入学手続要項及び手続書類（「入学辞退届・学費等返還金振込先金融機関届」等）は、合格者に判定通知とともに送付します。
- 必要な手続を完了した場合は、4月末日頃に銀行振込により所定の納付金を返還します。
- 返還の対象となるのは、第2次手続もしくは一括手続完了者のみです。第1次手続のみ完了している場合は、返還の対象とはなりません。

12. 取得免許・資格

本大学院（博士前期課程・修士課程）において取得できる教育職員免許状・資格の種類は次のとおりです。

研 究 科	専 攻 ・ コ ー ス	免 許 状 ・ 資 格 の 種 類	免 許 教 科
文 学 研 究 科	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	国 語 国 語
	英 語 英 米 文 学 専 攻	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	外 国 語（英 語） 外 国 語（英 語）
	社 会 文 化 学 専 攻	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	社 会 地 理 歴 史 ・ 公 民
人 間 生 活 学 研 究 科	人 間 発 達 学 専 攻 人 間 発 達 学 コ ー ス	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 幼 稚 園 教 諭 専 修 免 許 状 学 校 心 理 士 受 験 資 格 又 は 学 校 心 理 士 補 資 格	
	人 間 発 達 学 専 攻 臨 床 心 理 学 コ ー ス	臨 床 心 理 士 受 験 資 格	
	食 品 栄 養 学 専 攻	栄 養 教 諭 専 修 免 許 状	
	人 間 生 活 学 専 攻	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	家 庭 家 庭

13. 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、2年間の標準修業年限を超えて、3年間ないし4年間で計画的に教育課程の修学を認めるものです。適用を認められた場合、納入する学費等の総額は2年間分がよく、2年間分の学費等を、認められた履修年数で除した額を毎年納入することになります。

(1) 申請資格

長期履修の申請ができるのは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限ります。

※職業を有している等とは、有職者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）及び、出産、育児、介護、その他のやむを得ない事情により、フルタイム学生としての修学が困難な事情にあることをいいます。

(2) 申請手続時期及び期間

入学前（出願期間）又は入学後1年未満とします。入学後の申請手続期間はその年度の1月下旬とします。

(3) 認める期間

長期履修を認める期間は3年ないし4年とします。（すでに在学した期間を含めて、全体で4年を超えることはできません。）

(4) 授業の履修計画

授業の履修及び単位の修得については、専攻主任ないし研究指導担当予定教員の指導を受け、計画的な授業履修及び単位修得となるよう努めてください。

(5) 申請から審査結果通知まで

- ・ 志願票の長期履修希望欄に記入の上、長期履修申請書と長期履修計画書を、その他の出願書類とともに提出してください。

- ・試験日当日の面接試問終了後等に、修学の条件等について確認を受けてください。
- ・合格した場合、提出書類にもとづいて審査を行います。
- ・審査結果は判定結果とともに通知します。

(6) 入学手続

長期履修制度の適用を認められた者は、長期履修者用の銀行振込用紙を用い、入学手続(p. 12 参照)を行ってください。

14. 奨学金制度等

名 称	区分	金 額 等	募集人数	募集時期	対象学年	給付(免除)貸与時期	応募資格	備考
本学特有の奨学金	クビリー奨学金	給付 入学年度のみ 年額20万円	17名	6月初旬	学部2年生以上 大学院1年生以上	7月末日 10月末日	人物・学業ともに優れ、経済的理由により、修学が困難な学生	他奨学金との併受給可
	大学院クビリー奨学金	給付 入学年度のみ 年額15万円	15名	大学院入学試験志願時	大学院博士前期課程及び修士課程1年生	4月末日	本学学部出身者で本学の博士前期課程及び修士課程に進学する者で、人物・学業に優れた者	他奨学金との併受給可
	私費外国人留学生授業料減免	減免 授業料の半額	若干名	4月上旬	—	—	学部及び、大学院に在籍する私費外国人留学生(在留資格「留学」)であり、人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な者	
一般財団法人渡辺和子記念 ノートルダム育英財団奨学金	給付	学部生 月額3.5万円 大学院生 月額4.0万円	学部生 13名程度 大学院生 5名程度	4月初旬 ～中旬	学部2年生以上 大学院1年生以上 (博士後期課程を除く)	初回は6月に 3ヶ月分、それ 以降は毎月	県内の大学、大学院または短大に在学する学生。人物・学業ともに優れ、将来の社会貢献を期待できる者	他奨学金との併受給不可
ノートルダム清心女子 大学同窓会奨学金	給付	年額25万円	10名 以内	9～10月	学部2,3年生 大学院生(修士課程2年生、博士後期課程3年生を除く)	翌年の 4月中旬 9月中旬	人物・学業ともに優れ、経済的に修学困難な学生及び大学院生で、終身会費を納めている者	他の返還義務のない奨学金との併受給不可
大学院生向け 日本学生支援機構 奨学金第1種	貸与	修士・博士前期/5・8.8万円から選択 博士後期/8・12.2万円から選択	日本学生支援機構指定する人数	4月中旬	大学院生	募集時から修了年度まで	大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者	修業年限を越えては不可
大学院生向け 日本学生支援機構 奨学金第2種	貸与	5・8・10・13・15万円から選択					大学・大学院における成績が優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者、または、大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者	

* 2017年4月1日現在

・秋季試験で本学大学院への入学が内定した者は、入学前に日本学生支援機構奨学金予約採用の申し込みが可能な場合があります。

詳細については、学務部学生係にお問い合わせください。

学務部学生係 TEL 086-252-5039 (直通)

大学院の紹介

文学研究科の概要と特色

文学研究科は、日本語日本文学専攻（博士課程）、英語英米文学専攻（修士課程）、および社会文化学専攻（修士課程）の3専攻からなる。日本語日本文学専攻の博士課程はさらに、修士課程に相当する前期課程と、その上に立って博士学位取得をめざす後期課程に分かれる。

50年近い学部教育の実績のうえに立って、本学は1995年4月、文学研究科・人間生活学研究科の2研究科からなる大学院を開設した。この折に文学研究科では修士課程の日本語日本文学と英語英米文学の2専攻を開き、2年後の1997年4月に日本語日本文学専攻を博士課程として、同修士課程を博士前期課程に改めた。さらに2007年4月、社会文化学専攻（修士課程）を設置した。

日本語日本文学専攻（博士前期課程）と英語英米文学専攻に共通する特色は、ともに文学2分野、語学1分野の研究分野を立て、さらにそれぞれに関係の深い思想領域の科目を配するところにある。すなわち日本語日本文学専攻では、古代中世文学・近世近代文学・日本語学の3研究分野に加え、日本思想史・日本民俗学・中国思想史からなる専門関連科目を開講する。英語英米文学専攻では、イギリス文学・アメリカ文学・英語学言語学の3専攻分野に加えて、聖書学・キリスト教思想を専門関連科目として開く。いずれも、言語と文学が密接なかかわりを持つと同様、思想もまた言語・文学と密接不可分の関係にあることに配慮したものである。また、両専攻とも、専門関連科目内に中等教育の教科教育（国語・英語）に関する特論を置き、教育職員専修免許状取得課程の充実を図っている。

社会文化学専攻では、文学部現代社会学科の2コースとの対応を視野に入れて、社会学および社会史の2研究分野を立てる。これにくわえて、社会言語学・社会文学・文化人類学・社会倫理学・社会哲学の各特論を専門関連科目として、2分野の教育・研究内容がより豊かになるように配慮している。さらに、他の2専攻同様に、社会・地理歴史科教育の特論を設けて、専修免許状の取得に資することとしている。

なお、以上の博士前期課程・修士課程においては、専攻間の交流・相互刺激によって幅広い視野を醸成すべく、他専攻開設授業の単位取得を認めている。

一方、博士後期課程の日本語日本文学専攻では、日本文学・日本語学の2研究分野構成とし、関連分野に日本思想史・日本民俗学・和漢比較文学・キリスト教思想史の各特殊講義を配している。

いずれの専攻も、それぞれの専門領域に必要な高度な研究能力および実践応用能力を確実に身につけるとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問う敏活柔軟な知性の育成を志しており、研究職・教育職をはじめとし、各種の専門職に幅広く適応し得る高度専門職業人の養成を目指すものである。

日本語日本文学専攻博士前期課程の概要と特色

本専攻は、古代中世文学・近世近代文学および日本語学の3研究分野を区分し、それぞれの研究を進めるとともに、専門関連科目として立てた日本思想史・日本民俗学・中国思想史の各特論をも含め、これらを有機的に関連させて、新しい研究の視角を切り開こうとするところにねらいがある。

本学は、黒川文庫・正宗文庫などの多くの貴重図書を蔵して、開学以来、とりわけ古典研究に多くの業績をあげてきており、さらに最近では辞書学・方言学など日本語学関係図書を中心とする佐藤茂文庫を得ることによって、日本語学研究にも新領域を開く土台が築かれた。

(1) アドミッション・ポリシー

古代中世文学分野、近世近代文学分野、日本語学分野に関わる専門的な知識を踏まえて研究能力を発揮し、自らのねらいに基づく個性的な研究課題に対して適切な方法論によって取り組むことで、新しい知見を得ようとする意欲的な学生を求める。

(2) カリキュラム・ポリシー

3研究分野のうち、古代中世文学分野では、上代より中世にいたる文学作品および作者を研究対象範囲として、物語・日記・和歌・歌論などをとりあげて、この時代の文学の展開の諸相を究明する。

近世近代文学分野では、近世より現代にいたる文学作品と作者を研究対象範囲として、小説および文学理論をとりあげて、多角的にこの時代の文学を追究する。

日本語学分野は、大きく分類すると、古代語と近代語の2領域を研究対象範囲とし、日本社会の言語行動および日本語表現について考察するとともに、通時・共時の多角度から、日本語の総合的な研究を目指す。

専門関連科目では、日本思想史・日本民俗学・中国思想史の各特論を開講し、思想も本来、言語・文学と密接不可分の関係にあることに配慮している。

これら3分野のいずれかの領域に研究の主体を置き、研究課題を策定して、その課題に関係のある科目を選択履修することで、研究課題に応じた着実な方法論による多角的・融合的な知識によるアプローチを可能にする。

(3) ディプロマ・ポリシー

基礎的研究能力を証明する十分な単位を修得し、学問的水準を満たした修士論文を作成し、作成した修士論文が審査に合格して、さらに最終試験に合格すれば、修士（文学）の学位が授与される。

日本語日本文学専攻博士前期課程カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単 位	担 当 者	摘 要
古代中世文学	古代文学特論Ⅰ	4	准 教 授 東 城 敏 毅	(万葉集を中心とした古代和歌研究)
	古代文学特論Ⅱ	4	准 教 授 原 豊 二	(源氏物語研究の方法と歴史を学ぶ)
	中世文学特論Ⅰ	4	准 教 授 木 下 華 子	(中世和歌文学研究)
	中世文学特論Ⅱ	4	非常勤講師 海 野 圭 介	(金葉和歌集古写本の検討) [㊦]
	古代中世文学演習	4	准 教 授 東 城 敏 毅	(古代中世文学資料研究)
			准 教 授 木 下 華 子 准 教 授 原 豊 二	
近世近代文学	近世文学特論Ⅰ	4		※
	近世文学特論Ⅱ	4		※
	近代文学特論Ⅰ	4	教 授 山 根 知 子	(近代文学研究)
	近代文学特論Ⅱ	4	教 授 綾 目 広 治	(近代批評研究)
	近代文学特論Ⅲ	4	教 授 山 根 道 公	(近現代文学とキリスト教研究)
	近世近代文学演習	4	教 授 綾 目 広 治 教 授 山 根 知 子 教 授 山 根 道 公	(近世近代文学資料研究)
日本語学	古代語特論	4	非常勤講師 三 宅 ち ぐ さ	(古代語の種々相に関する研究)
	現代語特論	4	教 授 尾 崎 喜 光	(書き言葉の特徴分析)
	生活語特論	4		※
	日本語表現特論	4	非常勤講師 三 宅 ち ぐ さ	(「分かりやすい表現」に関する研究)
	日本語学演習	4	教 授 尾 崎 喜 光	(現代日本語資料研究)
科 専 門 関 連 目	日本思想史特論	4	非常勤講師 八 重 樫 直 比 古	(『日本書紀』と仏教)
	日本民俗学特論	4	教 授 小 嶋 博 巳	(民俗宗教の研究)
	中国思想史特論	4	准 教 授 鈴 木 真	(近世中国の科举と理念)
	国語科教育特論	4	准 教 授 伊 木 洋	(国語科教育実践論の研究)

- (注) 1 このカリキュラムは、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、**開講科目及び担当教員については変更されることがあります。**
- 2 ※は平成29年度は開講しません。
- 3 [㊦]は集中講義です。

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
日 本 語 学	古代語特論	三 宅 ち ぐ さ	古代語は、多様であり、散文か韻文か、散文も更に和文系か漢文系か等と細分類できる。そこで、その記載様式ごとに、語彙・意味・表記・文法・文体等の多面的視点から、できる限り古代語の実態を確認する。又、研究法や研究成果等を学ぶと同時に、その知識・理解をより深め、現代語へのつながり等も認識すべく調査・分析などを実践する。
	現代語特論	尾 崎 喜 光	文学作品を読んで私たちが感動するのはどこにあるのかについて「表現」という観点から考える。第1期は、下記の教材を精読・議論することで、言語学的観点からの文学作品の見方についての基礎力を養う。第2期は、それを踏まえ、文学作品に現れる表現を実際に調査・分析する。
	日本語表現特論	三 宅 ち ぐ さ	語彙・意味・表記・文法・文体等の多面的視点から、分かりやすい表現とはどのようなものかを確認する。その研究法や研究成果等を学ぶと同時に、その知識・理解をより深め確かなものとするため、身近な文章を材料に調査・分析なども実践する。
	日本語学演習	尾 崎 喜 光	各自の研究課題について社会言語学的観点から検討する。先行研究や資料分析の方法について討論する。
専 門 関 連 科 目	日本思想史特論	八 重 樫 直 比 古	欽明天皇13年10月条の仏教伝来の記事をはじめとして『日本書紀』には伝来当初の仏教の姿を伝える記事が多く収められている。ただし仏教関係記事に限らず、『日本書紀』には虚構の色彩の濃厚なものが多い。そこで、仏教関係の記事から、『日本書紀』を編纂した人々が、仏教をどのようなものと捉え、また仏教に何を期待していたのかを明らかにする。もって8世紀初頭の支配者層の思想を窺う。
	日本民俗学特論	小 嶋 博 巳	日本の民俗宗教の基本構造と歴史について研究する。とくに、民俗宗教を形成する一つの契機である定住と遍歴の交渉に注目し、遍歴宗教者と、定住民の一時的遍歴としての巡礼をとりあげる。また、民俗社会における信仰・知識のあり方について考察する。
	中国思想史特論	鈴 木 真	近世中国における科挙・宗族・思想の問題を中心に、当時の漢人社会のあり方について、歴史学の観点より考察する。
	国語科教育特論	伊 木 洋	国語科教育の歴史的過程を中心として国語科教育総論について理解を深めるとともに、国語教室創造のための実践理論を考察する。そのうえで、学習指導要領をふまえて単元を構想し、議論・検討することを通して国語科教育の目指す方向について認識を深める。

《備考》

この授業概要は、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目、担当教員及び授業概要については変更されることがあります。

英語英米文学専攻の概要と特色

本専攻は、本学の教育理念を踏まえて、英語英米文学の思想的基盤であるキリスト教思想に通暁しつつ英語英米文学の高度な専門的研究を進めるとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問い、生きることの意義を追究する敏活柔軟な知性の育成を志し、研究職、教育職を初めとして各種の専門職に幅広く適応する人材の養成を目指している。

(1) アドミッション・ポリシー

本専攻では、上記概要に示している教育目標に共鳴し、英語英米文学を専門的に研究しながら、国際的視野に立って広く国内外で活躍し、自己の人生を豊かにすると共に社会に貢献しようという意欲を持っている女性を求めている。

(2) カリキュラム・ポリシー

本専攻のカリキュラムは、上記の教育目標を達成するために、専門研究分野としてはイギリス文学、アメリカ文学、英語学言語学の3研究分野をもって構成し、あわせてキリスト教思想に関する科目を専門関連科目として配置して、高度な専門性と人間存在の意義を追究できる広い視野に立つ編成を旨としている。

これらの3研究分野と専門関連科目内に配置している科目の内容は次の①～④に示す通りである。

① イギリス文学分野

16・17世紀英詩、19世紀及び現代イギリス小説、エリザベス朝時代及び現代アイルランド演劇、文学批評理論の研究を進めることを通して、イギリス文学の普遍的価値への洞察を深める。

② アメリカ文学分野

19・20世紀アメリカ小説やユダヤ系アメリカ作家の文学世界を研究することにより、現代の抱える普遍的な問題点を考察するとともに、文学研究に必須の文学批評理論の研究も深める。

③ 英語学言語学分野

一般言語学の理論と方法論を活用し、統語論、意味論、語彙論等の領域で言語システムの解明と、英語教育の研究を深めていく。個別言語として、主に英語と日本語を対象とするが、言語普遍性の問題を探究し、その対照研究により、英語の本質を明らかにする。

④ 専門関連科目

英語、英米文学の基盤にあるキリスト教思想の究明を志す。言語と文学を、思想ともからめた広い視野からとらえなおすことの重要性を考えて、授業科目を配置した。

(3) ディプロマ・ポリシー

上記の3専門研究分野それぞれの基礎的研究能力を証明する十分な単位を修得し、これらの3研究分野の中で特に深く研究する分野での高度専門職業人としての基礎的問題解決能力を身につけていることを証明する修士論文の審査と、専門関連科目を含めて総合的に審査する最終試験に合格することによって修士（文学）の学位が授与される。

授 業 概 要

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
イ ギ リ ス 文 学	イギリス文学特論Ⅰ	赤 松 佳 子	17世紀イギリスの詩人と呼ばれるジョン・ダンの作品を中心に、英詩を研究する。同時代詩人や後世の詩人の作品との比較を通して、作品を精読・分析し、詩がどのように読まれ、批評されてきたかを考えていく。
	イギリス文学特論Ⅲ	藤 木 和 子	アイルランドの劇作家、ブライアン・フリールの演劇作品を読む。ローカル色豊かに描かれる人間模様の中には人間社会の抱える普遍的な問題、葛藤が見られる。その演劇手法を考察しながら、作家と作品の位置づけを試みる。
	イギリス文学演習	David Ramsey	This advanced graduate seminar will investigate drama of the English Renaissance at its height, during the Elizabethan Age.
ア メ リ カ 文 学	アメリカ文学特論Ⅰ	中 村 善 雄	アメリカ生まれの国際的作家ヘンリー・ジェイムズの中・短編作品の講読を通じて、19世紀後半の文化をめぐる諸問題を明らかにしていき、高踏派作家として名高いジェイムズ像の脱構築と、大衆文化との親和性を追及していく。
	アメリカ文学特論Ⅱ	広 瀬 佳 司	ハイム・グラデー、シンシア・オジックの短編・長編を熟読しながら、ユダヤ文化・儀式を説く。イディッシュ語の初歩も学習することで、アメリカ文学の奥行きを感じてほしい。また、「旧約聖書」との関係も考察しながら講義を進めていくので、聖書も読んでほしい。必要に応じて、ほかのユダヤ系作家にも言及していきたいと考えている。
	アメリカ文学特論Ⅲ	David Ramsey	This graduate course will provide a useful introduction to critical and literary theory. These critical tools are relevant not only to literary research, but are useful in all kinds of analysis, including investigations of social, cultural, economic, and political structures.
	アメリカ文学演習	広 瀬 佳 司 David Ramsey	シンシア・オジックの文学をアメリカ文学の枠組みとヨーロッパ文学の中で捉えながら吟味する。 This advanced graduate seminar will investigate prose fiction of the early 20th century in the period between the world wars.
英 語 学 言 語 学	英語学言語学特論Ⅰ	福 島 富 士 郎	動詞の意味と出来事構造の関係を考える。また、動詞と時間副詞の関係がどのようなものかを実際の例文を見ながら考え、検証していく。
	英語学言語学特論Ⅱ	坂 口 真 理	英語の副詞の機能的・意味的分析を扱ったGreenbaumの古典的文献を批判的に読んでいく。また、日英語比較対照の視点から、彼の副詞の分類が日本語の副詞にも適用できるか考察する。
	英語学言語学特論Ⅲ	Robert Waring	This course will deepen the students' understanding of both the practical and theoretical sides of second language acquisition.

社会文化学専攻の概要と特色

本専攻は、社会学と社会史の2研究分野から成る。それぞれの研究の深化、発展に努めるとともに、専門関連科目をも含め、それらを有機的に関連させ、新たな研究の地平を切り拓こうとする。

(1) アドミッション・ポリシー

本専攻では次のような人材を求めている。

社会や文化に対する強い探究心を持ち、社会現象を共時的、通時的にとらえる幅広い視野を備え、研究者として自立した問題解決能力を獲得しようとするもの。

(2) カリキュラム・ポリシー

人間社会の諸現象を考察するために、社会学と社会史の2研究分野を設ける。

社会学分野では、とくに地域社会学、家族社会学、社会集団・組織論、社会心理学の諸領域の方法によって、現代社会の構造や機能を明らかにしていく。

社会史分野では日本・アジア・ヨーロッパの3地域をそれぞれ対象とする社会史と、隣接する学問領域である考古学および民俗学によって、先史時代から現代に至る社会とその文化を考察する。

さらに専門関連科目として社会科教育・社会言語学・社会文学・文化人類学・社会倫理学の各特論を開講して、2分野の教育・研究内容がより豊かになるように配慮している。

このようなカリキュラムにより社会と文化に対してトータルなアプローチを可能にする。

(3) ディプロマ・ポリシー

上記の2研究分野それぞれの基礎的研究能力を証明する十分な単位を修得し、作成した修士論文が審査に合格して、いずれかの特に深く研究する分野で高度専門職業人としての能力を身につけていることを証明し、さらに最終試験に合格すれば、修士（文学）の学位が授与される。

社会文化学専攻カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単 位	担 当 者	摘 要
社 会 学	地域社会学特論	4	准 教 授 二階堂 裕 子	◎◎
	家族社会学特論	4	教 授 山 下 美 紀	
	社会集団・組織論特論	4	准 教 授 濱 西 栄 司	
	社会心理学特論	4	非常勤講師 土 井 隆 義	
	宗教社会学特論	4	非常勤講師 谷 富 夫	
	社会学演習	4	教 授 山 下 美 紀 准 教 授 二階堂 裕 子	
社 会 史	日本社会史特論 I	4	教 授 西 尾 和 美 子	※
	日本社会史特論 II	4	教 授 藤 實 久 美 子	
	アジア社会史特論	4	准 教 授 鈴 木 真	
	ヨーロッパ社会史特論	4		
	日本民俗学特論	4	教 授 小 嶋 博 巳	
	考古学特論	4	教 授 紺 谷 亮 一	
	社会史演習	4	教 授 紺 谷 亮 一 教 授 小 嶋 博 巳 教 授 紺 谷 亮 一 教 授 西 尾 和 美 子 准 教 授 藤 實 久 美 子	
専 門 関 連 科 目	社会言語学特論	4	教 授 尾 崎 喜 光	
	社会文学特論 I	4	教 授 綾 目 広 治	
	社会文学特論 II	4	教 授 広 瀬 佳 司	
	文化人類学特論	4	非常勤講師 加 藤 正 春	
	社会倫理学特論	4	教 授 葛 生 栄 二 郎	
	社会哲学特論	4	准 教 授 崎 川 修 生	
	社会・地理歴史科教育特論	4	教 授 河 合 保 生	

- (注) 1 このカリキュラムは、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。
- 2 ※は平成29年度は開講しません。
- 3 ◎は集中講義です。

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
専 門 関 連 科 目	社会言語学特論	尾 崎 喜 光	フォーマルな文体を旨とすることから現代においても古典文法や古風な言いまわしが現われやすい校歌の歌詞に注目し、共同作業により校歌を多数収集・蓄積してデータベース化し、履修者が関心を持つ観点からそれぞれ分析することで、校歌の歌詞の現状を多角的に把握する。また、校歌が作られた時代別に分析することで、使用表現の変化の有無や変化の方向性を明らかにする。
	社会文学特論Ⅰ	綾 目 広 治	大正期から現代に至るまでの文芸批評史を展望する。代表的な評論、および文学論争の読解を通して、現代文学史において何が問題にされてきたのか、さらにそれらの問題と社会との関わりについて考察する。さらに大衆小説に焦点を絞って、作家や出版者さらに読者などからなる出版文化と、その歴史的意義についても考察する。従って、この講義は社会的な視野から見た現代文学史の講義であり、また、広い意味での現代社会思想史でもある。
	社会文学特論Ⅱ	広 瀬 佳 司	アメリカのユダヤ系作家と、その作品を取り上げて、作家活動や作品の分析を通して、ユダヤ系移民と、それを取り巻くアメリカ社会の関係を考察する。
	文化人類学特論	加 藤 正 春	前期は、人間生活の基本単位としての家族について、家族関係学、社会学、民俗学、文化人類学等の視角から検討する。講義では、家族関係学および家族研究の学説史を説くとともに、家族の多様性とその歴史的変容について具体的に論ずる。後期は、家族をとりまく宗教的諸事象について、幅広い観点から考察する。
	社会倫理学特論	葛 生 栄二郎	現代の人間生活をとりまく社会倫理問題（生命倫理・環境倫理等）を自然法論の立場から解き明かす。また、具体的事例を通じて、日常生活に根ざす価値規範としての自然法の構造を解明する。
	社会哲学特論	崎 川 修	現代の人間社会の様々な側面に見られるケアの営みについて、その社会哲学的、人間論的基盤を探求する。また、ケアが向かう社会的課題としての様々な暴力について考察し、その構造と論理を見つめながら、それらに向き合うためのケア実践の具体的なあり方を追求する。
	社会・地理歴史科教育特論	河 合 保 生	アクティブラーニングをはじめとする学校教育で求められている指導法の特徴を講義するとともに、社会科・地理歴史科教育に必要なフィールドワークやICTを活用した指導法を、実践を通じて学ぶ。また、人文地理学の研究手法と成果をもとにした社会科・地理歴史科教育のあり方について、演習を交え地理学的視座から考察する。

《備考》

この授業概要は、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目、担当教員及び授業概要については変更されることがあります。

人間生活学研究科の概要と特色

本研究科は、修士課程と博士後期課程で構成され、修士課程には人間発達学専攻人間発達学コース、人間発達学専攻臨床心理学コース、食品栄養学専攻、人間生活学専攻の3専攻・2コースが置かれ、博士後期課程には人間複合科学専攻1専攻が設置されている。さらに、修士課程の各専攻・コースには3～5研究分野が設けられ、博士後期課程の人間複合科学専攻には3研究領域が設けられている(表)。修士課程の研究分野と博士後期課程の研究領域との間には密接な関係があり、人間複合科学専攻の精神機能論領域は人間発達学専攻の両コースの研究分野に、保健栄養論領域は食品栄養学専攻の研究分野に、生活文化論領域は人間生活学専攻の研究分野にほぼ対応するものである。

表 人間生活学研究科の構成

修 士 課 程		博 士 後 期 課 程	
専 攻 ・ コ ー ス	研 究 分 野	専 攻	研 究 領 域
人間発達学専攻 人間発達学コース	発 達 基 礎 論 発 達 支 援 論 専 門 関 連 科 目	人間複合科学専攻	精 神 機 能 論
人間発達学専攻 臨床心理学コース	臨 床 心 理 論 研 究 法 分 野 基 礎 分 野 社 会 分 野 精 神 ・ 身 体 分 野		
食品栄養学専攻	栄 養 管 理 学 栄 養 学 食 品 学		保 健 栄 養 論
人間生活学専攻	人 間 社 会 論 人 生 活 文 化 論 生 活 経 営 論 生 活 環 境 論		生 活 文 化 論

本研究科は、本学の建学の精神、すなわちキリスト教精神とリベラル・アーツ教育の伝統に基礎を置き、人間及び人間生活を精神活動、身体維持活動、文化活動の面からとらえ、実生活に即した研究を行うとともに、修士課程においては高度専門職業人を、博士後期課程においては自立した研究者並びに高度の研究能力をもつ専門的な職業人を養成することを目的としている。

この目的を達成するため、修士課程においては、上記3専攻・2コースのいずれかの研究分野で実務的、基礎的研究活動を行う。ここで学生に要求されるのは、研究活動を通して人間と社会の実態を学び、それぞれの専攻分野における社会的、教育的、文化的等の諸問題を把握し、基礎的問題解決能力を身につけること、換言するならば、リサーチマインドを持つことである。

これに対し、博士後期課程の人間複合科学専攻では、修士課程における実務的・基礎的研究活動を基盤にして、広い視点から社会的ニーズの高い研究を行う。ここでは、修士課程の3専攻・2コースが1専攻に統合されている。これは、人間及び人間生活を、精神機能論領域、保健栄養論領域、生活文化論領域の視点から深く、かつ豊かに追究するためである。

人間発達学専攻人間発達学コースの概要と特色

本専攻の人間発達学コースは、人間の生涯発達研究上で重要な人間性の形成に関する基礎的問題、心理的適応と心の健康及び障害児に関する問題、また生涯発達の基盤となる感性や身体の健全発達の問題等を専門的に考究するコースである。併せて新しい時代の人間発達研究の学術的知見がもたらした総合生命観に基づいて、「新しいパラダイムによる人間についての発達観」の創出を試みる場となることを目指している。

(1) 人間発達学コースのアドミッション・ポリシー

本コースでは、発達基礎論、発達支援論にかかわる専門的な知識と研究能力を持つとともに、多様な研究課題に取り組む研究態度を持った学生を求める。本コースを志願する者は、学部において心理学、初等教育の教職科目についての履修をしていること、もしくは初等教育の教職経験を積んでいることが望まれる。

本コースを志願する者は、出願時に発達基礎論か発達支援論のいずれかの研究分野を選択することが求められる。

(2) 人間発達学コースのカリキュラム・ポリシー

発達基礎論と発達支援論のふたつの観点からの統合的人間発達研究による、その全体像の把握を、本コースのカリキュラム構成に反映させている。

第一の観点は、脳発達の最新の知見を中心とした発達の普遍的側面の研究である。この普遍的側面からの研究を、カリキュラムの研究分野欄では、「発達基礎論」と命名し、新しい発達観の創出基盤を究明する。

第二の観点は、生命の主体者としての個人の側面からの発達研究である。個々の人間は、人それぞれに異なる。したがって心身の発達研究には、幾通りかのパターンまたはライフ・スタイルがある。そのなかでいかに健全な発達を追求・促進するかは、重要なことである。また、人間は生活している文化のなかで、発達を促進させる。なかでも発達初期での情操教育的要因の影響力は見逃せない。第二の観点は、これらを単に統合したものではなく、教育学、情報科学、児童文学、芸術等を通して、理論を踏まえた実践的教育の側面から「発達支援論」として論じることにより、人間発達理解の深化を目指し、情操教育を中心とした発達の文化的側面から人間の発達を解明する。このことにより、教職志向の学部生の受け入れだけでなく、現職の幼、小、特別支援学校の教員のレベルアップを図ることも意図している。

加えて、人間発達を学校等の教育現場で的確に深く把握するため、「専門関連科目」として心理学と教育学に関する実践的科目を配置している。

(3) 人間発達学コースのディプロマ・ポリシー

本コースでは、学生がその研究を組織的・体系的に深化させ、十分な学問的水準を満たした学位論文を作成して修士（学術）の学位を得るために、次のような手順を決めている。

- ・出願時に、発達基礎論か発達支援論のいずれかの研究分野を選択することを求める。
- ・入学前に研究計画書の提出を求め、これに基づいて入学後の研究指導教員を決定する。

- ・ 2 年次の 5 月末までに研究題目を決定させ、この研究題目に基づいて、修士論文の中間発表会を行う。この場合、研究指導教員ではない教員からも広く指導を受ける機会とする。
- ・ 中間発表会における学術討論、教育指導等の内容を反映させる形で学位論文を作成させる。

本コースにおける学位論文は、以上の手順を踏まえるとともに、学位規則ならびに学位論文審査等の判定基準に示した研究水準を満たす必要がある。

なお、本コースでは、所定の要件を満たし、必要な科目を履修することによって、幼稚園教諭及び小学校教諭の専修免許状を取得することが可能である。また、所定の要件を満たし、必要な科目を履修し、実務経験を一定期間体験すれば、一般社団法人「学校心理士」認定運営機構が心理教育援助サービスの専門家であることを認定する、「学校心理士」資格認定試験の受験資格を取得することが可能である。

人間発達学専攻人間発達学コースカリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単 位	担 当 者	摘 要
発 達 基 礎 論	発達心理学特論A	2	准 教 授 湯 澤 美 紀	※
	発達心理学特論B	2	准 教 授 湯 澤 美 紀	
	発達心理学演習	4	准 教 授 湯 澤 美 紀	
	生理心理学特論A	2	教 授 石 原 金 由	
	生理心理学特論B	2	教 授 石 原 金 由	
	生理心理学演習	4	教 授 石 原 金 由	
	大脳発達学特論	2	教 授 林 泰 資	
	言語発達学特論	2		
	研究法特論	2	教 授 石 原 金 由	
発 達 支 援 論	教育実践特論ⅠA	2		※
	教育実践特論ⅠB	2		※
	教育実践特論ⅡA	2	教 授 片 山 裕 之 准 教 授 赤 木 雅 宣	
	教育実践特論ⅡB	2	准 教 授 小 田 久美子 教 授 片 山 裕 之	
		2	准 教 授 小 田 久美子 准 教 授 小 田 久美子	
	教育実践特論ⅢA	2	教 授 本 保 恭 子	
	教育実践特論ⅢB	2	教 授 本 保 恭 子	
	発達支援論演習Ⅰ	4	准 教 授 小 田 久美子	
	発達支援論演習Ⅱ	4	教 授 本 保 恭 子	
	教育情報科学特論	2		※
	児童文学特論	2	教 授 村 中 李 衣	
	音楽特論	2	教 授 熊 澤 住 子	
	美術特論	2	教 授 片 山 裕 之	
	特別支援教育特論	2	准 教 授 東 俊 一	
社会教育特論	2	教 授 西 井 麻 美		
生徒指導特論	2	准 教 授 中 内 み さ		
専 門 関 連 科 目	学校カウンセリング特論	2		※
	学校カウンセリング実習	1		※
	学校心理学特論	2	非常勤講師 多 田 志麻子	隔週開講
	心理検査特論	2	准 教 授 中 内 み さ	
	心理検査実習	1	准 教 授 中 内 み さ	
	教育心理学特論	2	非常勤講師 湯 澤 正 通	
	臨床心理学特論	2	教 授 平 松 清 志	

(注) 1 このカリキュラムは、平成29年度のもので、したがって、平成30年度においては、
開講科目及び担当教員については変更されることがあります。

2 ※は平成29年度は開講しません。

授 業 概 要

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
発 達	発達心理学特論 A	湯 澤 美 紀	認知・自己意識・社会性・言語・遊びの多領域にわたる発達の様相を、論文・専門書講読を通して理解する。また、生活・学習場面で躓きを示す幼児・生徒に対する実際的な支援例を学びながら、そうした子どもたちに向けた支援の可能性について、適宜、検討・議論する。
	発達心理学特論 B	湯 澤 美 紀	認知・思考の発達を支える認知機能として、ワーキングメモリを取り上げる。ワーキングメモリについて最新の知見を概観した後に、発達障害とワーキングメモリの関連について解説する。さらに、ワーキングメモリに着目した支援の在り方について議論を深める。
	発達心理学演習	湯 澤 美 紀	授業は、生涯発達心理学に関する理解を軸としながら、現代社会における人間の発達を取り巻く諸課題を、文献収集・講読・分析を通して明らかにする。それらの学びを踏まえた上で、学生自らがリサーチクエッションを導出し、研究を計画・実行し、発達心理学における新たな知見を提出する。
基	生理心理学特論 A	石 原 金 由	本授業では、生理心理学の基礎知識である「脳と神経系」について解説した後に、「睡眠」に焦点を当て、アメリカ睡眠学会の編集した「Basic of Sleep Guide」を適宜解説を加えながら講読する。ガイドブック講読によって、睡眠研究に関する基本的知識を習得する。課題として、受講者は研究論文を1本選択し、それをまとめてもらう。
	生理心理学特論 B	石 原 金 由	「睡眠」と「健康」をキーワードとして、現代の睡眠問題、とくに発達期にある子どもを中心として扱う。Oskar & Carskadon(Eds.) の「Sleep in Children and Adolescents」の一部を講読し、思春期までの子どもを対象とした睡眠に関する文献の講読を通して理解を深めていく。
	生理心理学演習	石 原 金 由	現代人の抱えている様々な問題のうち、睡眠と健康を取り上げ、これらを取り巻く心理・社会的環境との関連性を追究し、議論していく。授業は、受講生の研究テーマに基づいて、文献発表を中心に展開される。定期的に、研究計画や方法についても発表してもらい、議論してゆく。
論	大脳発達学特論	林 泰 資	運動機能、感覚機能、連合機能など、人間存在の源泉としての脳のもつ機能とその特徴に関する理解を深める。また、脳の発達や可塑性、脳とストレスあるいは心との関係について学び、人間理解に向けての脳科学の果たす役割と可能性について考察する。
	研究法特論	石 原 金 由	心理学の研究成果は実証的研究に基づいて蓄積されたものであり、それは工夫され、研究計画によって左右される。本授業では、「心理学研究法入門」を参考に、実験研究及び調査研究に関する研究法について講義する。

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
発	教育実践特論ⅡA	片 山 裕 之 赤 木 雅 宣 小 田 久 美 子	全国学力・学習状況調査, OECD 加盟国による生徒の学習状況調査 (PISA), 国際数学・理科教育動向調査 (TIMSS) などの結果をもとに, 我が国の子どもの抱えている学力を多面的に分析する。そのうえで, 小学校の国語(読解力, 表現力), 図画工作(表現力, 鑑賞力)に関して, より高度な総合的な指導技術を身に付けるため, カリキュラム開発, 教材開発, 形成的評価に基づく個別指導などの方策について, 理論的な背景を検討するとともに, 実際に構築し, 現場での検証を行う。
	教育実践特論ⅡB	片 山 裕 之 赤 木 雅 宣 小 田 久 美 子	国語科・図画工作科で培うべき学力を明らかにし, 表現力, 読解力, 言語力, 創造力, 造形力, 鑑賞力などの育成を目指した小学校低学年から高学年にかけての教育カリキュラムを構想する。 その際, scope と sequence の両側面から考察し, 試案の作成を行う。
達	教育実践特論ⅢA	本 保 恭 子	障害児・者やその家族が希望を持って生活するための「治療」と「教育」に関する研究・実践を行う治療教育(学)の中で, 「特別支援教育」と「母子保健」の領域のシステムや取り組みの実際について解説する。治療教育(学)では, 単に「治療」を障害や疾病の除去や改善, 欠陥や障害の除去・軽減というように狭く捉えるのではなく, 「治療教育を受ける人々の生活, 人生, 生命を豊かなものにしていく営み」として実施されているが, 主にその観点から特別支援教育を中心としたこの領域の諸問題とあり方について論考する。
	教育実践特論ⅢB	本 保 恭 子	障害児・者やその家族が希望を持って生活するための「治療」と「教育」に関する研究・実践を行う治療教育(学)の中で, 障害児を取り巻く望ましい社会環境の一端を担う「健常児への障害理解教育」と「特別支援教育」の実際について解説し, この領域の諸問題とあり方について論考する。また, 効果的な療育環境, 文化としての福祉についても考えていきたい。
支	発達支援論演習Ⅰ	小 田 久 美 子	幼児の描画発達とその周辺領域にあるカレントな課題を発掘し, 美術的・教育的視点により解明していく。
	発達支援論演習Ⅱ	本 保 恭 子	治療教育に関する今日の問題を著した内外の文献を精読するとともに, 特別支援教育あるいは療育現場における直接的な実践を通して, 効果的な発達支援について討議する。
援	児童文学特論	村 中 李 衣	日本の児童文学史上, 重要な意味をもつ月刊物語絵本「こどものとも」を1956年創刊時から60年を経た2013年まで読み通し, 時代背景や児童観の変遷と絡めて考察を進めていく。 敗戦後の自由と創造を希求する空気がどのように反映されたか, 当時の編集者の証言や, 同時代の外国の絵本事情との比較検討なども織り交ぜながら, 論じていく。併せて, 多様な研究の手法も学ぶ。
	音楽特論	熊 澤 住 子	なぜ音楽を聴いて感動するのか, 作品を分析することによって探っていく。そしてその分析をとおして学んだことをもとに, 作曲家の意図を汲み取った表現について考えるとともに, 乳幼児期・児童期の音楽教材についても理解を深める。

人間発達学専攻臨床心理学コースの概要と特色

本専攻の臨床心理学コースは、臨床心理士の養成に特化されたコースである。教育目標は、教育、保健、医療、福祉などさまざまな専門職と共同体制を組んで実践活動、研究活動、専門活動のできるスクールカウンセラー、産業カウンセラー、保健・医療領域での心理専門職、司法領域での調査官や矯正心理専門職、開業心理臨床家等の人材を養成することにある。

(1) 臨床心理学コースのアドミッション・ポリシー

本コースでは、臨床心理論にかかわる専門的な知識と研究能力を持つとともに、多様な研究課題に取り組む研究態度を持った学生を求める。本コースを志願する者は、学部において心理学に関する科目についての履修をしていることが望まれる。

(2) 臨床心理学コースのカリキュラム・ポリシー

本コースは臨床心理論、研究法分野、基礎分野、社会分野、精神・身体分野の5研究分野に計25科目の授業科目を配している。臨床心理論の13科目28単位は必修で、本コースに所属する院生のみを対象とするものである。他の研究分野の12科目は選択必修で、4研究分野にわたって、それぞれ2単位を選択し、8単位以上を修得することになっている。

このことによって、専門活動に関する科目、実践活動に関する科目、研究活動に関する科目をバランスよく履修できるようになっている。

(3) 臨床心理学コースのディプロマ・ポリシー

本コースでは、学生がその研究を組織的・体系的に深化させ、十分な学問的水準を満たした学位論文を作成して修士（学術）の学位を得るために、次のような手順を決めている。

- ・入学前に研究計画書の提出を求め、これに基づいて入学後の研究指導教員を決定する。
- ・2年次の5月末までに研究題目を決定させ、この研究題目に基づいて、修士論文の中間発表会を行う。この場を、研究指導教員ではない教員からも広く指導を受ける機会とする。
- ・中間発表会における学術討論、教育指導等の内容を反映させる形で学位論文を作成させる。

本コースにおける学位論文は、以上の手順を踏まえるとともに、学位規則ならびに学位論文審査等の判定基準に示した研究水準を満たす必要がある。

なお、本コースでは、修了後に公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」の受験資格を取得することができる。本コースは、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会から2005年5月に第1種大学院の指定を受け、2006年4月に入学した院生から適用されている。

人間発達学専攻臨床心理学コースカリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単 位	担 当 者	摘 要
臨 床 心 理 論	臨床心理学特論Ⅰ	2	教 授 平 松 清 志	課程修了の要件として、本研究分野について28単位修得するものとする。なお、本研究分野の授業科目は、本コースに所属する学生のみを対象とする。
	臨床心理学特論Ⅱ	2	准 教 授 中 内 み さ	
	臨床心理学演習	4	教 授 清 板 芳 子	
		4	准 教 授 平 中 清 志	
		4	准 教 授 中 内 清 志	
	臨床心理面接特論Ⅰ	2	教 授 西 隆 太 朗	
	臨床心理面接特論Ⅱ	2	准 教 授 清 板 芳 子	
	臨床心理査定演習Ⅰ	2	教 授 東 俊 一	
	臨床心理査定演習Ⅱ	2	教 授 清 板 芳 子	
	臨床心理基礎実習	2	教 授 平 松 清 志	
	臨床心理実習	2	准 教 授 西 隆 太 朗	
			准 教 授 清 板 芳 子	
			准 教 授 中 内 み さ	
			准 教 授 東 俊 一	
	心理療法特論Ⅰ	2	准 教 授 青 山 新 吾	
心理療法特論Ⅱ	2	准 教 授 西 隆 太 朗		
投影法特論	2	准 教 授 西 隆 太 朗		
学校臨床心理学特論	2	准 教 授 青 山 新 吾		
分 研 究 法	心理学研究法特論	2	教 授 石 原 金 由 博	
	心理統計法特論	2	教 授 水 野	
基 礎 分 野	発達心理学特論	2	准 教 授 湯 澤 美 紀	
	学習心理学特論	2	非 常 勤 講 師 堤 幸 一	
	生理心理学特論	2	教 授 石 原 金 由	
	教育心理学特論	2	准 教 授 西 隆 太 朗	
分 社 野 会	社会心理学特論	2	非 常 勤 講 師 堀 内 孝 文	㊦ ㊦
	心理臨床関連法規特論	2	非 常 勤 講 師 稲 田 正 文	
身 精 体 神 分 野	精神医学特論	2	非 常 勤 講 師 松 本 洋 輔	隔 週 開 講 隔 週 開 講
	心身医学特論	2	非 常 勤 講 師 松 本 洋 輔	
	臨床大脳発達学特論	2	教 授 林 泰 資	
	障害児心理学特論	2	准 教 授 東 俊 一	

- (注) 1 このカリキュラムは、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。
- 2 ㊦は集中講義です。

授 業 概 要

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
臨 床	臨床心理学特論Ⅰ	平 松 清 志	臨床心理学とは何か、原理と方法論、歴史について、具体的な臨床活動と関連づけながら理解を深める。また、高度専門職業人としての臨床心理士について、専門家としての成長発達、職業倫理、社会的責任、記録の取り方、資格制度及び他職種との連携等について学ぶ。
	臨床心理学特論Ⅱ	中 内 み さ	精神分析、分析心理学、クライアント中心療法の理論に関する本を読み、それをもとに討論する。
	臨床心理学演習	清 板 芳 子	個別ケースへの心理療法、集団や組織への精神保健的援助などの心理臨床的実践の経験をもとにした質的研究もしくは事例研究、もしくはこれから得た知見を基にした問題意識を検討するための疫学的調査などを行う。後者の場合は統計的手法も用いて分析する。
		平 松 清 志	臨床心理学の原理と方法論を、具体的な心理臨床活動と関連づけ、また文献資料に基づいた論考をもとにしながら、臨床心理学研究の基礎を学ぶ。
		中 内 み さ	臨床心理学の研究法について文献講読を中心に理解する。自分の心理臨床実践の体験に基づいて、事例報告の書き方や人間理解の方法など臨床心理学研究の基本を学ぶ。
心 理 論	臨床心理面接特論Ⅰ	西 隆 太 朗	臨床心理学における研究方法について学び、自らの研究を進める。とくに、心理臨床にかかわる体験・事例を読み解くこと、先行研究の批判的検討を重視する。
		清 板 芳 子	心理臨床的面接は、医療、教育、福祉、保健、司法などの領域に生ずる心理的困難に照準を合わせ、これへの精神療法、支援を展開していく活動である。この軸となる方法論としての面接法を的確に学ばせたい。なお、それに先立ち、上記領域ごとにおける心理療法の布置や意義の違い、さらには集団面接法、家族面接法、コンサルテーション面接法などの枠組みも学びたい。
	臨床心理面接特論Ⅱ	東 俊 一	学習理論を理解したうえで、行動論的アプローチの方法を中心にアセスメントのポイントや基本的指導技法について学び、教育・福祉・医療分野における適用について検討する。
	臨床心理査定演習Ⅰ	清 板 芳 子	まず、医療、福祉、保健、司法、教育の、各領域における心理査定の意義と位置づけについて学ぶ。これを受け、現場で高頻度に施行される知能検査、自己評価式人格検査、投影式人格検査の施行法、評定評価法を学ぶ。
	臨床心理査定演習Ⅱ	清 板 芳 子	臨床現場で活用される頻度も高く、信頼性も高度であると共通認識されているところのロールシャッハ法（片口法）について理論実践の両面から詳細に学び臨床活用可能なレベルの習得をめざす。
臨床心理基礎実習	平 松 清 志 西 隆 太 朗	ロールプレイを用いて、コミュニケーション技術の基本、相手を理解する方法、課題を読みとる視点、援助法などを学習するほか、精神科病院、児童福祉施設などの見学実習を通して、心理臨床の現場について知る。	

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
臨 床 心 理 論	臨床心理実習	清 板 芳 子 中 内 み さ 東 俊 一 青 山 新 吾	1年次より継続して学内の臨床実習施設（清心こころの相談室）で学内教員のスーパービジョンの下に学生は来談事例を担当し、アセスメント法および面接法・遊戯療法等の実習を行う。実習後は定期カンファレンスで報告し、担当教員、学生全員で事例検討を行う。また学外の実習施設（児童養護施設・情緒障害児短期治療施設、および精神科病院）に於いて計120時間の実習を行い、各施設担当者と学内教員が連携して実習指導を受ける。
	心理療法特論Ⅰ	平 松 清 志	主として遊戯療法、芸術療法等の非言語的アプローチについて、各種の技法の要点、理論的背景、制限の問題、象徴的表現の意義、臨床実践における留意点と課題等を、具体的な臨床素材を用いて学ぶ。
	心理療法特論Ⅱ	西 隆 太 朗	心理療法の治療論について考察する。講読形式を取り入れ、主として精神分析的な心理療法における関連文献の検討をおこない、治療論における基礎的概念について学ぶ。また、臨床実践に基づいた具体例について、参加者同士のディスカッションを通じての検討をおこなう。
	投影法特論	西 隆 太 朗	投影法について、とくに被検査者との関係性を重視する立場からの検討をおこなう。イメージや語りを通じて多様な情報が得られるTATや描画を用いた投影法を実際に体験し、解釈の実際について学ぶ。また、心理療法の実際における投影法的理解について考察する。
	学校臨床心理学特論	青 山 新 吾	文部科学省によるスクールカウンセラー事業も、中学校を中心とする時代から、幼稚園、小学校、高等学校とその対象範囲が拡大する時代へと移った。そこで、各世代に特有の問題や、先生方との連携や協働の在り方、不登校やいじめ、発達障害等のトピックについての臨床心理学的知見について取り上げる。
研 究 法 分 野	心理学研究法特論	石 原 金 由	心理学の研究成果は実証的研究に基づいて蓄積されたものであり、それは工夫され、研究計画によって左右される。本授業では、「心理学研究法入門」を参考に、実験研究及び調査研究に関する研究法について講義する。
	心理統計法特論	水 野 博	収集した心理統計データの解析とその解釈について、統計解析の基礎的事項から実際までを学修する。また、蓄積された大量の各種データをどのように整理し、活用するかというデータベースの利用方法についても述べる。
基 礎 分 野	発達心理学特論	湯 澤 美 紀	自己意識の発達やアイデンティティの確立のプロセスを幼児期から中年期にかけて概観しながら、自尊感情の獲得や青年期の発達課題、そして保護者理解について議論する。
	学習心理学特論	堤 幸 一	まず記憶理論、次に学習理論を体系的に概説する。途中で、学んだ理論的知見を現実生活場面に応用するという視点でデモ実験・体験を取り入れる。
	生理心理学特論	石 原 金 由	本授業では、生理心理学の基礎知識である「脳と神経系」について解説した後に、「Hilgard's Introduction to Psychology」や「Biological Psychology」から生理心理学に関わる内容を取り上げて、講読する。課題として、受講者は研究論文を1本選択し、それをまとめてもらう。

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
基礎分野	教育心理学特論	西 隆 太 朗	教育の場は、教育者と学習者の関係性、およびその間に生じるコミュニケーションによって成立している。関係性のなかでの教育・学習の過程を心理学的に探究する方法を学び、とくに教育実践に関する事例研究の方法論について検討する。
社会分野	社会心理学特論	堀 内 孝	心理学における「自己」研究の理論的な流れを古典からレビューし、最先端の理論を解説する。
	心理臨床関連法規特論	稲 田 正 文	心理臨床のいずれの領域においても、業務はクライアントとの社会的関係のなかで行われ、法律制度と無関係ではあり得ない。「法」の仕組みを理解した上で、主として福祉領域と医療保健領域における法制度を概観し、心理臨床との関わりについて取りあげる。
精神・身体分野	精神医学特論	松 本 洋 輔	精神医学総論と精神症候学について概説する。 各精神疾患についての歴史・原因・症状・診断・経過・治療について概説する。 精神科治療法について概説する。
	心身医学特論	松 本 洋 輔	心身医学、心身相関について概説する。 各種心身疾患、神経疾患の各論について概説する。 心身疾患の治療について概説する。
	臨床大脳発達学特論	林 泰 資	運動機能や感覚機能をはじめとするさまざまな脳機能とその特徴について学び、学習・記憶や脳疾患のメカニズム、ストレスと脳機能、脳と心の関係などに関する理解を深める。加えて、脳を守り育むために脳科学が果たす役割について考察する。
	障害児心理学特論	東 俊 一	知的障害、発達障害を中心にその心理学的特性、行動特性を理解したうえで、社会生活で必要とされるさまざまなレパートリーを形成する技法について学ぶ。

《備考》

この授業概要は、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目、担当教員及び授業概要については変更されることがあります。

食品栄養学専攻の概要と特色

超高齢化社会を迎えつつあるわが国において、保健・医療・福祉・介護の領域では、高度に専門化された知識と洗練された技能を持った人材が求められている。本専攻では、リベラルアーツ・カレッジである本学の性格を大切にしながら、「食と健康」に関する基礎・応用研究、さらには臨床的な研究を進めることにより、栄養学の分野から保健・医療等の領域で、社会のニーズに応えることのできる人材の養成を目指している。同時に、食に関する教育、指導ができる人材が育つことを期待している。

(1) 食品栄養学専攻のアドミッション・ポリシー

本専攻では、本学の教育理念に共感し、栄養学を中心とした保健・医療等の領域で、自ら高いレベルの研究をこころざし、挑戦しようとする女性を求めている。また、幅広い知性・教養を持つための地道な努力を行い、俯瞰的な視野に立って、栄養学に関する諸問題を解決しようとする意欲のある学生を求めている。

本専攻での研究を志望する学生は、入学前に研究指導を希望する教員と面談して指導を受け、入学後の研究をスムーズに進めるための研究計画書を提出する必要がある。

(2) 食品栄養学専攻のカリキュラム・ポリシー

本専攻では、上記の社会ニーズに応えることのできる人材を育成するために、栄養管理学、栄養学、食品学の3研究分野を配し、基礎から応用・臨床的な教育研究が行える環境を整えている。栄養管理学分野では、人体生理機能および健康管理に関する教育研究を行い、栄養学分野では、臨床栄養や栄養教育に関する教育を行うとともに、栄養素の代謝や吸収障害についての基礎および応用的研究を行う。また、食品学分野では食品成分の機能特性や食文化などの分野に関して科学的な究明を行うカリキュラムを編成している。さらに必要に応じて、他専攻の関連科目も履修し、幅広い視野をもつ「食」のスペシャリストの養成を目指している。このスペシャリストとは、将来の栄養学を担う研究者・教育者であり、臨床現場でイニシアチブをとることのできる高度専門職業人としての管理栄養士および栄養教諭である。

(3) 食品学栄養学専攻のディプロマ・ポリシー

入学前に提出した研究計画書をもとに研究を進め、2年次第1期に行われる中間発表会で、進捗状況に関する評価および指導を受ける。その後、学位論文を提出し、審査会において最終評価を受けて合格する必要がある。さらに、カリキュラムを履修することにより所定の単位を修得し、修士課程の学生としての幅広い知性と教養を身につけなければならない。

なお、本専攻では別途必要な科目を履修することにより、栄養教諭の専修免許状を取得することが可能である。

食品栄養学専攻カリキュラム一覧表

研究分野	授業科目	単位	担当者	摘要
栄養管理学	人体生理学特論Ⅰ	4	教授 林 泰 資 教授 戸 田 雅 裕	※ (神経科学と食品成分)
	人体生理学特論Ⅱ	4		(食による生活習慣病予防)
	栄養管理学特論	4	教授 戸 田 雅 裕 教授 林 泰 資	※
	公衆栄養学特論	4		(抗酸化物質の食への活用)
	栄養管理学演習	4		(食品成分の脳機能への影響)
栄養学	栄養学特論	4	教授 小 林 謙 一	(生体機能と栄養素の連関)
	臨床栄養学特論Ⅰ	4	准教授 白 神 俊 幸	(疾病と消化管吸収機能)
	臨床栄養学特論Ⅱ	4	准教授 山 下 美 保	※
	臨床医学特論	4		(各種疾患と栄養)
	栄養教育学特論	4	准教授 若 本 ゆかり	(身体と心の栄養教育)
	栄養学演習	4	教授 小 林 謙 一 准教授 白 神 俊 幸 准教授 若 本 ゆかり	(栄養素の代謝と腎機能) (腸管トランスポーターの調節と機能) (エビデンスに基づく栄養教育)
食品学	食品学特論Ⅰ	4	教授 北 畠 直 文	(食品の構造と機能)
	食品学特論Ⅱ	4	非常勤講師 今 田 節 子	※
	調理学特論	4		(伝統食の歴史と科学)
	食文化特論	4	准教授 長 濱 統 彦 教授 北 畠 直 文 准教授 長 濱 統 彦	※
	衛生微生物学特論	4		(衛生微生物の多様性)
	食品学演習	4		(食品成分の機能特性) (食品に関わる微生物)

- (注) 1 このカリキュラムは、平成29年度のもので、したがって、平成30年度においては、
開講科目及び担当教員については変更されることがあります。
- 2 ※は平成29年度は開講しません。

授 業 概 要

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
栄 養 管 理 学	人体生理学特論Ⅱ	林 泰 資	様々な食品成分や経口的に摂取される可能性のある化学物質のうち、特に脳の機能に影響を及ぼす成分を紹介し、その作用メカニズムを学ぶことによって、食事と脳機能および脳の発達との関連性を学ぶ。また、日々の食生活が学習活動や社会活動に及ぼす影響について、脳科学の立場から解説する。
	栄養管理学特論	戸 田 雅 裕	食品の機能には栄養機能や嗜好感覚機能の他に生体調整機能があり、特に生活習慣病の予防・改善に効果があるとされる各種機能性成分が注目を集めている。本講義では生活習慣病についての理解を深めるとともに、食の観点からその予防法を探究する。
	栄養管理学演習	戸 田 雅 裕	体内で発生する活性酸素は生活習慣病の発生に大きな役割を果たしており、そのため予防医学の観点から抗酸化物質の摂取が有効であると考えられている。本講義では活性酸素発生機序ならびに起因疾患についての理解を深めるとともに、各種抗酸化物質の有効性を検討する。
		林 泰 資	脳科学に関する基礎的および臨床的な著書、原著論文を読み、食育を指導する立場に立って討論を行う。さらに、組織学的、神経化学的および行動薬理学的手法を用いて実験を行い、脳の発達や機能に及ぼす成育環境や食品成分の影響について追求する。
栄 養 学	栄養学特論	小 林 謙 一	栄養素や食品成分が、生体内の様々な生理機能とどのように関わっているのかについて、最新の知見に基づいて講述する。特に、アミノ酸栄養と他の様々な栄養素との関連に焦点を当てつつ、疾病との関連性にも触れるとともに、疾病を予防・改善する食品（成分）についても考察したい。
	臨床栄養学特論Ⅰ	白 神 俊 幸	腸管上皮における各種栄養素の吸収は特殊な輸送系を介して行われている。本講では、分子病態栄養学的観点からの最新の知見を交えながら、吸収・輸送障害に関連する腸疾患等の種々の疾患およびそれらに付随する栄養障害について理解を深め、適切な栄養教育へと関連付ける。
	臨床医学特論	山 下 美 保	疾患には種々の病態が存在し、各医療施設で診断・治療が施され、内科的、外科的、精神的等の治療が展開されている。本授業では、各疾患の診断・治療を解説し、さらに栄養管理的観点から未病へのアプローチ等についても触れる。
	栄養教育学特論	若 本 ゆかり	生涯を通じた心身の健康管理には、望ましい食生活習慣確立の基盤となる自己管理能力の養成が不可欠であり、食を通じた学習指導はその要といえる。この教育活動の円滑な推進のために必要な知識と技術の習得を目指す。
	栄養学演習	小 林 謙 一	アミノ酸の代謝異常と生活習慣病との関連についての研究課題を設定し、それに基づいた学術文献の抄読、実験計画の立案、実験の実施、そして結果の解析および考察を行う。さらに、生活習慣病を予防・改善する食品成分について考究する。

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
栄 養 学	栄養学演習	白 神 俊 幸	腸管のペプチドトランスポーターを主とする各種栄養素トランスポーターの発現および機能調節に関して、関連する学術論文の収集と講読、研究計画、実施、論文作成および研究成果の発表を指導する。
		若 本 ゆかり	生活習慣および食習慣と健康障害との関連について、学術論文の抄読により、栄養疫学的知見から評価・考察できるようにする。あわせて質の高い研究デザインを行うための基礎的能力を養う。
食 品 学	食品学特論 I	北 畠 直 文	食品タンパク質、糖質、脂質を中心に、食品成分の構造、物性、機能について講義し、食品製造加工、調理との関連について論究する。さらに、食のもつ本質的意味について考察する。学術論文、学術書の購読を含む。
	調理学特論	今 田 節 子	各地に伝承される伝統食および日本料理の技術や心得について発達・形成過程を辿り、調理科学的視点より特徴を明確にすると共に、それらの有用性について論述する。また、これらの知識を反映させた食の教育のあり方についても講述する。
	衛生微生物学特論	長 濱 統 彦	環境中に存在する微生物のうち、感染症に関わるものはごくわずかである。地球に存在する微生物の進化と多様性を学び、そのなかでの人との関わり、特に食水媒介感染症に関わる微生物の位置付けと特異性について理解する
	食品学演習	食品学演習	北 畠 直 文
長 濱 統 彦			食中毒を中心とした食に関わる微生物の多様性を理解し、その遺伝的多様性を解析する手法を学ぶ。学術論文を理解し、自ら執筆するための能力を培う。

《備考》

この授業概要は、平成 29 年度のものであります。したがって、平成 30 年度においては、開講科目、担当教員及び授業概要については変更されることがあります。

人間生活学専攻カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単 位	担 当 者	摘 要
人間 社会 論	人間学特論	4	准 教 授 崎 川 修	(ケア理論からの人間的考察)
	女性学特論	4	特別招聘教授 高 木 孝 子	(女性学から見た人格形成)
	社会倫理学特論	4	教 授 葛 生 栄二郎	(生命倫理・環境倫理論)
	社会福祉学特論 I	4	教 授 杉 山 博 昭	(社会福祉の歴史と思想)
	社会福祉学特論 II	4	非常勤講師 八重樫 牧 子	(地域社会における子育て支援) ㊦
	人間社会論演習	4	教 授 葛 生 栄二郎	(社会倫理理論の比較・分析)
		4	教 授 杉 山 博 昭	(社会福祉理論の検討)
生活 文化 論	文化交流史特論	4		※
	日本民俗学特論	4	教 授 小 嶋 博 巳	(民俗宗教から見た生活文化論)
	比較文化特論	4	教 授 紺 谷 亮 一	(西アジア文化論)
	家族・社会構造特論	4	教 授 山 下 美 紀	(家族の構造的分析)
	生活文化論演習	4		※
生活 経 営 論	生活経営学特論	4	教 授 豊 田 尚 吾	(生活充実に資する経営・経済学)
	家族関係学特論	4	非常勤講師 加 藤 正 春	(家族関係学主要論点の再考)
	消費経済学特論	4	非常勤講師 山 根 智 沙子	(現代社会における消費経済論)
	生活情報処理特論	4	教 授 水 野 博	(生活関係情報の整理と活用) ㊦
	生活経営論演習	4		※
生活 環 境 論	生活環境学特論	4	教 授 小 川 賢 一	(生活環境論)
	住環境特論	4	教 授 上 田 恭 嗣	(快適な住環境形成に向けての探究)
	食環境特論	4	教 授 小 林 謙 一	(栄養・健康管理論)
	生活環境論演習	4	教 授 小 川 賢 一	(生活環境問題への対応策の構築)
		4	教 授 上 田 恭 嗣	(居住環境のデザインおよび住居学的研究)

- (注) 1 このカリキュラムは、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、
開講科目及び担当教員については変更されることがあります。
- 2 ※は平成29年度は開講しません。
- 3 ㊦は集中講義です

授 業 概 要

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
人 間 社 会 論	人間学特論	崎 川 修	現代の人間社会の様々な側面に見られるケアの営みについて、その人間論的、社会哲学的基盤を探究する。また、ケアが向かう社会的課題としての様々な暴力について考察し、その構造と論理を見つめながら、それらに向き合うためのケア実践の具体的なあり方を追求する。
	女性学特論	高 木 孝 子	欧米における女性学の研究成果を踏まえながら、現代社会における女性のキャリア形成や家族の変容等についてライフステージに沿って考察していきたい。
	社会倫理学特論	葛 生 栄二郎	現代の人間生活をとるべく社会倫理問題（生命倫理・環境倫理等）を自然法論の立場から解き明かす。また、具体的事例を通じて、日常生活に根ざす価値規範としての自然法の構造を解明する。
	社会福祉学特論 I	杉 山 博 昭	日本キリスト教社会事業の歴史的展開を見ることで、日本の社会福祉の歴史的特質を把握する。キリシタン時代から、近年の動向まで、カトリック・プロテスタントの社会福祉実践、社会福祉思想、教会と社会福祉の関係などを考察していく。
	社会福祉学特論 II	八重樫 牧 子	少子化の進行、共働き家庭の一般化、家庭や地域社会の養育機能の低下など子どもを取り巻く環境の変化による子ども・家庭・地域の福祉問題を明らかにし、これらの問題を解決するために展開されている子育て・子育て支援の現状と課題について検討する。
	人間社会論演習	葛 生 栄二郎 杉 山 博 昭	社会倫理上の諸問題について、欧米の最新成果を踏まえつつ、詳細に吟味する。 社会福祉関係の文献を順次講読し、社会福祉の思想理論について検討する。格差・貧困、介護労働、ジェンダー、福祉国家、地域福祉など、個々の課題と、社会福祉原論とを結び付けて検討していく。
生 活 文 化 論	日本民俗学特論	小 嶋 博 巳	日本の民俗宗教の基本構造と歴史について研究する。とくに、民俗宗教を形成する一つの契機である定住と遍歴の交渉に注目し、遍歴宗教者と、定住民の一時的遍歴としての巡礼をとりあげる。また、民俗社会における信仰・知識のあり方について考察する。
	比較文化特論	紺 谷 亮 一	主に西アジアの文化について、その特異性と普遍性について解き明かす。異文化理解の方向性について考える。題材としては現代を含めた歴史性の中で取り上げていく。
	家族・社会構造特論	山 下 美 紀	本講義では、まず家族研究の基礎となる理論、分析方法、学説史などの基本を学ぶ。つぎに、古典的な家族論から家族社会学分野の最新の研究成果を取り上げ、輪読形式で報告、討論を行い、理解を深める。
生 活 経 営 論	生活経営学特論	豊 田 尚 吾	生活者がウェルビーイング（よい生活）を実現するためのライフマネジメントとはいかなるものかを学ぶ。その際、企業など組織の経営理論、実践や基礎となる経済学を参考にするとともに、生活を設計する前提となる、個人の価値観にも焦点をあてる。 さらに人間生活を経営・経済の観点から見る新しい試みとして消費者行動論、行動経済学を取り上げ、生活経営の広がりについても学習する。

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
生 活 経 営 論	家族関係学特論	加 藤 正 春	人間生活の基本単位としての家族について、家族関係学、社会学、民俗学、文化人類学等の視角から検討する。講義では、家族関係学および家族研究の学説史を説くとともに、家族の多様性とその歴史的変容について具体的に論ずる。日本社会の変容と家族関係のあり方について考究する。
	消費経済学特論	山 根 智 沙 子	私たちは、ありとあらゆる財・サービスに囲まれて生活しています。そんな中で、私たち消費者はどのように財やサービスを選択しているのでしょうか。消費者とは何か、消費者の最適な消費行動など、経済理論の基礎知識からより身近な問題までを取り上げ解説をしていきます。さらに、「行動経済学」という新しい視点から、消費者行動について一緒に考えてみましょう。
	生活情報処理特論	水 野 博	収集した統計データの解析とその解釈について、統計解析の基礎的事項から実際までを学修する。また、蓄積された大量の各種データをどのように整理し、活用するかというデータベースの利用方法についても述べる。
生 活 環 境 論	生活環境学特論	小 川 賢 一	地球環境と地域環境の視点から自然（動植物等）や文化、ライフスタイルを見直し、新しいまちづくり、および生活環境づくりを考察する。
	住環境特論	上 田 恭 嗣	人が生活する上で大切な住環境・都市環境について講述する。都市化・高機能化・超高齢化・少子化・景観・まちづくり等のキーワードをもとに、これからの日本に求められる住環境を探求する。
	食環境特論	小 林 謙 一	食環境の変容とメタボリックシンドロームとの関連性について論ずるとともに、「食」によるメタボリックシンドロームの予防・改善が可能かどうかについて考察する。
	生活環境論演習	小 川 賢 一 上 田 恭 嗣	自然・生き物との共生共存を基盤とした生活環境を構築するための研究を行う。 人と住まいの生活環境、そしてその集合体でもある都市環境を研究対象として、快適な住環境を創造するための諸問題を考察する。また、日本の伝統的な住環境・住まい方等について、歴史・風土・建築技術等の面からも考究する。

《備考》

この授業概要は、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目、担当教員及び授業概要については変更されることがあります。

博士後期課程

目 次

学生募集要項	53
募集人員	53
一般選抜	53
出願資格	53
出願書類, 試験科目	54
社会人特別選抜	55
出願資格, 出願書類, 試験科目	55
外国人留学生選抜	56
各選抜共通事項	56
入学前の指導, 出願期間, 出願方法	56
選考方法, 試験日, 試験場, 試験当日に関する注意事項	57
判定通知, 入学手続	58
学費等納入金, 学位の授与, 長期履修制度	60
奨学金制度等	61
大学院の紹介	62
文学研究科の概要と特色	62
日本語日本文学専攻博士後期課程	63
人間生活学研究科の概要と特色	67
人間複合科学専攻博士後期課程	68

学生募集要項

募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員	
			秋季	春季
文学研究科	日本語日本文学専攻	博士後期課程	2	若干名
人間生活学研究科	人間複合科学専攻	博士後期課程	3	若干名

一般選抜

1. 出願資格

次の資格を備えた女子

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は本大学院入学の前までに修士の学位若しくは専門職学位を授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は本大学院入学の前までに修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は本大学院入学の前までに修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は本大学院入学の前までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は本大学院入学の前までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者又は本大学院入学の前までに修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号）
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で平成 30 年（2018 年）4 月 1 日において 24 歳に達したもの
- (9) 日本国政府国費外国人留学生として推薦を受けた者

《注意》

「一般選抜」出願資格の(7)及び(8)については、次のとおりです。

(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号）

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果により、修士の学位を有する者と同等以上の学力

があると認めた者

(8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達したもの

☆ 次の基準のすべてを満たす者

① 大学を卒業後、各種の教育・研究機関等において研究又は指導に従事した期間が2年以上あること

② 著書、学術論文等において、修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績（学会誌に掲載された学術論文等）を有すること

前記出願資格の(7)(8)のいずれかによって出願しようとする者は、秋季試験は、平成29年(2017年)7月28日(金)、春季試験は、平成29年(2017年)12月26日(火)までに、出願資格認定のための審査を受けなければなりません。該当者は、入試広報部へお問い合わせください。

2. 出願書類

1.	入学志願票	本大学院所定の用紙 上半身、正面、背景なし、3か月以内撮影の写真(同じもの。カラー、白黒いずれでもよい)を志願票と写真票に貼付すること
2.	博士前期課程・修士課程修了証明書又は博士前期課程・修士課程修了見込証明書	出願資格にかかわるもので、厳封されたもの
3.	成績証明書	出身大学院学長又は研究科長が作成し、厳封したもの
4.	修士論文等	(1) 博士前期課程・修士課程修了者 修士論文(写) (2) 博士前期課程・修士課程修了見込の者 修士論文予定の論文(写) (3) 前記以外の者 修士論文に代わる既刊の研究論文及び研究業績一覧等、博士論文研究基礎力審査の合格に関する資料
5.	研究計画書	本大学院所定の様式に従い、志願の動機、目的及び入学後の研究計画を記入したもの
6.	受験科目選定申告書	本大学院所定の用紙
7.	長期履修申請書	本大学院所定の用紙(該当する志願者のみ)
8.	長期履修計画書	本大学院所定の用紙(該当する志願者のみ)

3. 試験科目

試験	専攻	課程	試験科目 時間	科目名	配点
筆記試験	日本語日本文学専攻	博士後期課程	外国語 9:00～10:00	日本語、英語から1か国語を出願時に選択(自国語は選択できません。) ※辞書持ち込み可	100点
			専門科目 10:40～12:10	志願者各自の専門分野に関するもの	200点
	人間複合科学専攻	博士後期課程	外国語 9:00～10:00	英語 ※辞書持ち込み可	100点
			専門科目 10:40～12:10	次の研究領域に関連した3科目のうち1科目を出願時に選択 (1) 精神機能論領域 (2) 保健栄養論領域 (3) 生活文化論領域 ※研究計画との整合性に留意のこと	200点
面接試験	13:00～			※人間複合科学専攻は、修士論文又はこれに代わる研究論文を中心に行います。	

《注意》

辞書持ち込み可の科目であっても、電子辞書の持ち込みは不可とします。

社会人特別選抜

1. 出願資格

次の資格を備えた女子

「一般選抜」における出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当し、かつ、入学時に27歳以上である者

2. 出願書類

1.	入学志願票	本大学院所定の用紙 上半身、正面、背景なし、3か月以内撮影、縦4cm×横3cmの写真(同じもの。カラー、白黒いずれでもよい)を志願票と写真票に貼付してください。
2.	博士前期課程・修士課程修了証明書又は博士前期課程・修士課程修了見込証明書	出願資格にかかわるもので、厳封されたもの
3.	成績証明書	出身大学院学長又は研究科長が作成し、厳封したもの
4.	修士論文等	(1) 博士前期課程・修士課程修了者 (2) 博士前期課程・修士課程修了見込の者 (3) 前記以外の者 修士論文(写) 修士論文予定の論文(写) 修士論文に代わる既刊の研究論文及び研究業績一覧等、博士論文研究基礎力審査の合格に関する資料
5.	研究計画書	本大学院所定の様式に従い、志願の動機、目的及び入学後の研究計画を記入したもの
6.	受験科目選定申告書	本大学院所定の用紙(該当する志願者のみ)
7.	長期履修申請書	本大学院所定の用紙(該当する志願者のみ)
8.	長期履修計画書	本大学院所定の用紙(該当する志願者のみ)

《備考》

社会人で、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の適用を受けようとする者は、入試広報部へ問い合わせてください。

※ 大学院設置基準第14条では、教育方法の特例として①「夜間」、②「特定の時間」、③「特定の時期」に教育を行うことができますと規定しています。本大学院では、①「夜間」及び③「特定の時期」には教育を行っていませんが、②「特定の時間」について適用する場合があります。この「特定の時間」の適用の内容は、次のとおりとなっています。

☆ 「特定の時間」を適用する場合は、博士後期課程の1～3年次に実施します。

☆ その内容は、学生が課程修了の要件として必要な科目を履修する際に、教員が授業又は研究指導の時間を学生の都合に合わせて調整するものです。

3. 試験科目

試験	専攻	課程	試験科目時間	科目名	配点
筆記試験	日本語日本文学専攻	博士後期課程	専門科目 10:40～12:10	志願者各自の専門分野に関するもの	100点
	人間複合科学専攻	博士後期課程	専門科目 10:40～12:10	次の研究領域に関連した3科目のうち1科目を出願時に選択 (1) 精神機能論領域 (2) 保健栄養論領域 (3) 生活文化論領域 ※研究計画との整合性に留意のこと	200点
面接試問	13:00～			※人間複合科学専攻は、修士論文又はこれに代わる研究論文を中心に行います。	

外国人留学生選抜

外国人留学生については、特別入試も行っています（秋季のみ）。
希望者は、本学入試広報部にお問い合わせください。

各選抜共通事項

1. 入学前の指導

博士後期課程志願者は、秋季試験は、平成 29 年（2017 年）7 月 21 日（金）、春季試験は、平成 29 年（2017 年）12 月 26 日（火）までに、面談により志望する専攻の専攻主任及び各研究分野・研究領域の担当教員の指導を受けなければなりません。

文学研究科日本語日本文学専攻志願者は、日本語日本文学専攻主任及び志望する研究分野の担当教員の指導を受けてください。（各研究分野の概要及び担当教員については P. 62～66 を参照してください。）

人間生活学研究科人間複合科学専攻志願者は、人間複合科学専攻主任及び志望する研究領域の担当教員の指導を受けてください。（各研究領域の概要及び担当教員については P. 67～73 を参照してください。）

なお、入学前の指導を受ける場合は、入試広報部宛に、E-mail（メールアドレスは、裏表紙参照）でお問い合わせください。

2. 出願期間

〈秋季〉平成 29 年（2017 年）8 月 21 日（月）～8 月 30 日（水）消印有効

〈春季〉平成 30 年（2018 年）2 月 1 日（木）～2 月 13 日（火）消印有効

〔注〕海外からの出願は、期間内必着とします。

3. 出願方法

(1) 入学検定料 30,000 円

① 志願票一連のつづりは、切り離さないで必要事項を記入し金融機関へ持参してください。

② 入学検定料は、金融機関窓口（ゆうちょ銀行は不可）から振り込み納入してください。ATM やインターネットバンキングなどで振り込みをされた場合は、提出書類等に取扱店収納印が押されないため、書類を受理することができません。

③ **振り込んだ後、A・C 票に取扱店収納印があることを確認してください。**

④ C 票は領収書なので大切に保管してください。

(2) 前記書類を取り揃え、ノートルダム清心女子大学入試広報部宛に郵送（簡易書留速達）又は持参してください。

(3) 出願書類を持参する場合の受付時間は、8:30～16:30 です。（土曜、日曜、祝日、本学休業日を除く。春季は土曜日も 12:30 まで受け付けています。）

《受付》ノートルダム清心女子大学 入試広報部

〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9

TEL 086-255-5585（直通）

(4) 出願後の志望研究科・専攻、課程及び選択受験科目の変更は一切認めません。

(5) 受験票は、出願締切後本人宛に発送します。

(秋季は9月6日頃、春季は2月20日頃一括して投函する予定です。)

※ 受験票には、志望研究科・専攻、課程、受験番号、氏名(カナ)等が記載されています。記載内容や住所表示が異なる場合は、直ちに入試広報部までお問い合わせください。

○ **いったん提出された出願書類及び入学検定料は、いかなる場合も返却しません。**

(6) 身体に障害を有する入学志願者との事前相談

身体に障害(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度)がある者には、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願開始日の1週間前(秋季試験の場合は、平成29年(2017年)8月7日(月))までに、本学入試広報部にお申し出ください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できる限り早い時期に御相談ください。

(7) 出願後の受験上の配慮

出願後に不慮の事故等(交通事故、発病等)のため受験上の配慮を希望する者は、速やかに本学入試広報部にお問い合わせください。

なお、申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮が行えないこともありますので、御了承ください。

4. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 筆記試験(各専攻別)
- (3) 面接試問

5. 試験日

(秋季) 平成29年(2017年)9月19日(火)

(春季) 平成30年(2018年)3月1日(木)

6. 試験場

ノートルダム清心女子大学(裏表紙 大学案内図参照)

7. 試験当日に関する注意事項

- (1) 自家用車の乗り入れを禁止します。
- (2) 試験当日は、正門から建物に入ってください。
- (3) 9:00からの受験者は8:30から8:40までに、10:40からの受験者は10:10から10:20までに、受付(正面玄関)で出席確認後、試験開始15分前までには試験室へ入室してください。
- (4) 注意事項
 - ① 試験時間中、机の上に置けるものは、「受験票」と次のものだけです。
 - ・ 黒鉛筆(和歌・格言等が印刷されているものは使用できません。)、シャープペンシル、消しゴム
 - ・ 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。)
 - ・ 時計(辞書や電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒

針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。)

- ・眼鏡, ハンカチ, ティッシュペーパー (袋又は箱から中身だけを取り出したもの。), 目薬
- ・辞書 (持ち込みが認められている試験のみ)

- ②試験時間中, 「定規 (定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)」 「コンパス」 「電卓」 「そろばん」 「グラフ用紙」 等の補助具や, 「電子辞書」 「携帯電話」 「スマートフォン」 「ICレコーダー」 「腕時計型端末」 等の電子機器類は使用できません。
- ③携帯電話, スマートフォン, 腕時計型端末等の電子機器類は, 試験室に入る前に電源を切り, 身につけないで, その他の所持品とともに, カバンなどにまとめて座席の下に置いてください。
- ④試験室内で英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。
- ⑤ひざ掛けの使用を希望する者は, 監督者に申し出て許可を得てから使用してください。なお, 英文字や地図等がプリントされているものは使用できません。
- ⑥試験時間中に配付した問題冊子等は, 全て回収しますので持ち帰ることはできません。
- ⑦遅刻した場合, 試験開始後 20 分まで受験を認めますので, 誘導係員に申し出てください。
- ⑧試験 (筆記・面接) 時間中は監督者 (面接官) の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。
- ⑨当日受験票を忘れた者は, 誘導係員に申し出て指示を受けてください。
- ⑩試験当日は, 大学では昼食等の販売は行っていません。
- ⑪引率者の方は, 試験当日, 引率者控室以外には立ち入らないでください。

8. 判定通知

(秋季) 平成 29 年 (2017 年) 9 月 22 日 (金)

(春季) 平成 30 年 (2018 年) 3 月 5 日 (月)

判定結果は, 受験者本人宛に速達で郵送します。(合格者には, 入学書類も同封します。)

- (秋季) 9 月 25 日 (月) までに判定通知が届かない場合は, 9 月 26 日 (火) の 8:30 ~ 16:30 の間に入試広報部 (TEL 086-255-5585) にお問い合わせください。
(春季) 3 月 7 日 (水) までに判定通知が届かない場合は, 3 月 8 日 (木) の 8:30 ~ 16:30 の間に入試広報部 (TEL 086-255-5585) にお問い合わせください。
- 判定結果についての電話でのお問い合わせ等には一切応じていません。本学発信以外の応答には責任を負いません。

9. 入学手続

- (1) 合格者は, 次の手続期間内に必要書類及び入学手続金を取り揃え手続を済ませてください。

それぞれの期日までに手続を終了しない場合は, 入学の意思がないものとみなします。

- (2) 入学手続金

区 分	入 学 手 続 金 項 目	金 額	備 考
第 1 次 手 続	入 学 金	300,000 円	本大学院博士前期課程・修士課程からの進学者からは, 入学金を徴収しません。
第 2 次 手 続	授 業 料 (第 1 期分) 施 設 ・ 設 備 費 (1 年次分)	280,000 円 150,000 円	

- (3) 入学手続書類

区 分	手 続 書 類	備 考
第 1 次 手 続		提出書類はありません。
第 2 次 手 続 又は一括手続	誓 約 書 所 属 長 の 同 意 書	入学手続金振込用紙一連つづりの一部 学校, 会社等に在職中で入学後も在籍する者のみ提出 (書式自由)

(4) 入学手続期間

(秋季)

区 分	手 続 期 間
第 1 次 手 続	平成 29 年 (2017 年) 9 月 25 日(月)～ 10 月 2 日(月)
第 2 次 手 続	平成 29 年 (2017 年) 9 月 25 日(月)～平成 30 年 (2018 年) 3 月 16 日(金) 消印有効

[注] 海外からの入学手続は、期間内必着とします。

(春季)

区 分	手 続 期 間
一 括 手 続	平成 30 年 (2018 年) 3 月 6 日(火)～ 3 月 16 日(金) 消印有効

[注] 海外からの入学手続は、期間内必着とします。

- 一括手続の入学手続金は、前記第 1 次手続と第 2 次手続の合計です。
 - 入学手続金振込用紙は、一連となっています。切り離さないで必要事項を記入して、金融機関窓口（ゆうちょ銀行は不可）から振り込み納入してください。ATM やインターネットバンキングなどで振り込みをされた場合は、提出書類等に取扱店収納印が押されないため、書類を受理することができません。
 - 第 2 次手続又は一括手続では、振り込んだ後、提出書類（誓約書）の取扱店収納印を確かめて、本学入試広報部へ郵送又は持参してください。
 - 書類を郵送する場合は、速達としてください。
 - 書類を持参する場合の受付時間は、8:30～16:30 です。（日曜、祝日、本学休業日を除く。土曜日は 12:30 まで）
 - ※ 手続き期間内の日曜・祝日を除く本学休業日・入学試験実施日等は、次のとおりです。
12 月 8 日(金)、12 月 29 日(金)～1 月 4 日(木)、1 月 13 日(土)、
1 月 24 日(水)～1 月 26 日(金)、2 月 16 日(金)、3 月 1 日(木)
 - 前記第 2 次手続または一括手続が完了した場合は、入学許可書を本人宛に郵送します。
 - 第 1 次手続のみ終了した時点では、本学から送付する書類はありません。領収書は大切に保管してください。
 - 所属長の同意書は、第 2 次手続または一括手続締切日から 1 週間以内に、提出してください。
- (5) 入学辞退者への納付金返還に係る対応について
- 平成 30 年度（2018 年度）の大学院入学試験（一般選抜・社会人特別選抜）による第 2 次手続もしくは一括手続完了後の入学辞退者には、次のように対応します。
- ① 納入された学費等は返還しません。ただし、次の期間に本学が定める手続により入学を辞退した場合に限り、入学金を除く学費等（授業料、施設・設備費）は、それに相当する額を返還します。
 - 1) 郵送の場合は、簡易書留速達郵便で平成 30 年（2018 年）3 月 31 日(土)の消印有効。
 - 2) 本学入試広報部に持参の場合は、平成 30 年（2018 年）3 月 31 日(土) 12:30 まで。
 - ② 平成 30 年（2018 年）4 月 1 日(日)以降に辞退した場合には、学費等納入金は返還しません。
 - ③ 納付金返還を希望する者は、「入学辞退届・学費等返還金振込先金融機関届」に必要事項を記入し、第 2 次手続もしくは一括手続完了者に送付される「入学許可書」を添え、入試広報部へ提出してください。
- 返還手続に必要な入学手続要項及び手続書類（「入学辞退届・学費等返還金振込先金融機関届」等）は、合格者に判定通知とともに送付します。

- 必要な手続を完了した場合は、4月末日頃に銀行振込により所定の納付金を返還します。
- 返還の対象となるのは、第2次手続もしくは一括手続完了者のみです。第1次手続のみ完了している場合は、返還の対象とはなりません。

10. 学費等納入金

(1) 学費等

次の金額を4月と10月に分納します。

納 入 金	文 学 研 究 科	人 間 生 活 学 研 究 科
授 業 料 (年 額)	560,000 円	560,000 円
施 設 ・ 設 備 費 (年 額)	150,000 円	150,000 円
教 育 充 実 費 (年 額)	74,000 円	44,000 円
実 験 実 習 演 習 費 (年 額)	31,000 円	64,000 円
衛 生 冷 暖 房 費 (年 額)	50,000 円	50,000 円
合 計	865,000 円	868,000 円

(2) 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

教育研究活動中及び通学途上に被った不慮の災害に対する救済措置として、また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る損害賠償を補償する措置として、学生教育研究災害傷害保険と学研災付帯賠償責任保険に加入することになっています。保険料は、入学時（4月）に徴収します。

専 攻 保険種別	日 本 語 日 本 文 学 専 攻 ・ 人 間 複 合 科 学 専 攻 共 通
学生教育研究災害傷害保険	2,100 円
学研災付帯賠償責任保険	1,020 円
合 計	3,120 円

※ 保険料は3年間分で、表は平成29年度（2017年度）実績です。

11. 学位の授与

博士課程を修了した者に対しては、次の学位が授与されます。

文学研究科 博士（文学）

人間生活学研究科 博士（学術）

12. 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、3年間の標準修業年限を超えて、4年間～6年間で計画的に教育課程の修学を認めるものです。適用を認められた場合、納入する学費等の総額は3年間分ではなく、3年間分の学費等を、認められた履修年数で除した額を毎年納入することになります。

(1) 申請資格

長期履修の申請ができるのは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限ります。

※職業を有している等とは、有職者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）及び、出産、育児、介護、その他のやむを得ない事情により、フルタイム学生としての修学が困難な事情にあることをいいます。

(2) 申請手続時期および期間

入学前(出願期間)又は入学後2年未満とします。入学後の申請手続期間は毎年1月下旬とします。

(3) 認める期間

長期履修を認める期間は4年～6年とします。(すでに在学した期間を含めて、全体で6年を超えることはできません。)

(4) 授業の履修計画

授業の履修及び単位の修得については、研究指導担当予定教員等の指導を受け、計画的な授業履修及び単位修得となるよう努めてください。

(5) 申請から審査結果通知まで

- ・志願票の長期履修希望欄に記入の上、長期履修申請書と長期履修計画書を、その他の出願書類とともに提出してください。
- ・試験日当日の面接試問終了後等に、修学の条件等について確認を受けてください。
- ・合格した場合、提出書類にもとづいて審査を行います。
- ・審査結果は判定結果とともに通知します。

(6) 入学手続

長期履修制度の適用を認められた者は、長期履修者用の銀行振込用紙を用い、入学手続(p. 58参照)を行ってください。

13. 奨学金制度等

名 称	区分	金 額 等	募集人数	募集時期	対象学年	給付(免除)貸与時期	応募資格	備 考
本学特有の奨学金	クビリー奨学金	給付 入学年度のみ 年額20万円	17名	6月初旬	学部2年生以上 大学院1年生以上	7月末日 10月末日	人物・学業ともに優れ、経済的理由により、修学が困難な学生	他奨学金との併受給可
	私費外国人留学生授業料減免	減免 授業料の半額	若干名	4月上旬	—	—	学部及び、大学院に在籍する私費外国人留学生(在留資格「留学」)であり、人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な者	
一般財団法人渡辺和子記念 ノートルダム育英財団奨学金	給付	学部生 月額3.5万円 大学院生 月額4.0万円	学部生 13名程度 大学院生 5名程度	4月初旬 ～中旬	学部2年生以上 大学院1年生以上 (博士後期課程を除く)	初回は6月に 3ヶ月分、それ 以降は毎月	県内の大学、大学院または短大に在学する学生。人物・学業ともに優れ、将来の社会貢献を期待できる者	他奨学金との併受給不可
ノートルダム清心女子 大学同窓会奨学金	給付	年額25万円	10名 以内	9～10月	学部2,3年生 大学院生(修士課程 2年生, 博士後 期課程3年生を除く)	翌年の 4月中旬 9月中旬	人物・学業ともに優れ、経済的に修学困難な学生及び大学院生で、終身会費を納めている者	他の返還義務のない奨学金との併受給不可
大学院生向け 日本学生支援機構 奨学金第1種	貸与	修士・博士前期/5・8.8万円 から選択 博士後期/8・ 12.2万円から 選択	日本学 生支 援機 構の 指 定 す る 人 数	4月中旬	大学院生	募集時から 修了年度ま で	大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者	修業年限を越えては不可
大学院生向け 日本学生支援機構 奨学金第2種	貸与	5・8・10・13・ 15万円から選 択					大学・大学院における成績が優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者、または、大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者	

* 2017年4月1日現在

詳細については、学務部学生係にお問い合わせください。

学務部学生係 TEL 086-252-5039 (直通)

大学院の紹介

文学研究科の概要と特色

文学研究科は、日本語日本文学専攻（博士課程）、英語英米文学専攻（修士課程）、および社会文化学専攻（修士課程）の3専攻からなる。日本語日本文学専攻の博士課程はさらに、修士課程に相当する前期課程と、その上に立って博士学位取得をめざす後期課程に分かれる。

50年近い学部教育の実績のうえに立って、本学は1995年4月、文学研究科・人間生活学研究科の2研究科からなる大学院を開設した。この折に文学研究科では修士課程の日本語日本文学と英語英米文学の2専攻を開き、2年後の1997年4月に日本語日本文学専攻を博士課程として、同修士課程を博士前期課程に改めた。さらに2007年4月、社会文化学専攻（修士課程）を設置した。

日本語日本文学専攻（博士前期課程）と英語英米文学専攻に共通する特色は、ともに文学2分野、語学1分野の研究分野を立て、さらにそれぞれに関係の深い思想領域の科目を配するところにある。すなわち日本語日本文学専攻では、古代中世文学・近世近代文学・日本語学の3研究分野に加え、日本思想史・日本民俗学・中国思想史からなる専門関連科目を開講する。英語英米文学専攻では、イギリス文学・アメリカ文学・英語学言語学の3専攻分野に加えて、聖書学・キリスト教思想を専門関連科目として開く。いずれも、言語と文学が密接なかかわりを持つと同様、思想もまた言語・文学と密接不可分の関係にあることに配慮したものである。また、両専攻とも、専門関連科目内に中等教育の教科教育（国語・英語）に関する特論を置き、教育職員専修免許状取得課程の充実を図っている。

社会文化学専攻では、文学部現代社会学科の2コースとの対応を視野に入れて、社会学および社会史の2研究分野を立てる。これにくわえて、社会言語学・社会文学・文化人類学・社会倫理学・社会哲学の各特論を専門関連科目として、2分野の教育・研究内容がより豊かになるように配慮している。さらに、他の2専攻同様に、社会・地理歴史科教育の特論を設けて、専修免許状の取得に資することとしている。

なお、以上の博士前期課程・修士課程においては、専攻間の交流・相互刺激によって幅広い視野を醸成すべく、他専攻開設授業の単位取得を認めている。

一方、博士後期課程の日本語日本文学専攻では、日本文学・日本語学の2研究分野構成とし、関連分野に日本思想史・日本民俗学・和漢比較文学・キリスト教思想史の各特殊講義を配している。

いずれの専攻も、それぞれの専門領域に必要な高度な研究能力および実践応用能力を確実に身につけるとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問う敏活柔軟な知性の育成を志しており、研究職・教育職をはじめとし、各種の専門職に幅広く適応し得る高度専門職業人の養成を目指すものである。

日本語日本文学専攻博士後期課程の概要と特色

本課程は、後期3年の課程で、博士前期課程との連続性を重視した積み上げ方式であり、教育・研究の内容は、日本文学と日本語学の2研究分野を根幹として、これに関連分野を配した。

根幹をなす2研究分野は、特殊講義と研究指導の軸をなす課題研究とで構成する。

(1) アドミッション・ポリシー

本課程は、修士課程設置に際して設定した目標を継続発展させ、高度な専門性を持つ職業人の育成を第一とし、あわせて、高度な研究能力・学識をもつ研究者の養成を目的とする。このため、専門研究の深化を図るとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問う、敏活柔軟な知性を養おうとする学生を求める。また、研究職・教育職をはじめとし、各種の専門職に幅広く適応し得る高度専門職業人たらしめる意欲的な学生を求めている。

(2) カリキュラム・ポリシー

本専攻では、日本文学と日本語学の2研究分野を根幹として、これに関連分野を配しており、それぞれ次のように構成している。

日本文学研究分野の古代中世特殊講義及び近世近代文学特殊講義においては、日本文学を代表する和歌・物語と近世近代の小説を中心とする科目を核として、文芸学と文献学の両面から文学研究の方法について指導し、これに、文学史の時代区分を基準として各時代の作品研究の科目を配することによって、日本文学の幅広い知識の修得と、ジャンル・作品に即した専門的研究が可能になるように配慮している。

日本語学研究分野の日本語学特殊講義においては、現代日本語の諸問題を幅広く追求し、これに、古代語の文字表現についての研究、未開拓資料を対象とする近代語研究など、多様な領域・対象を扱う科目を配することにより、さまざまな視点と方法による日本語の共時的、通時的研究を深めることができるように配慮している。

関連分野では、日本思想史・日本民俗学・和漢比較文学・キリスト教思想史に関する特殊講義を配している。

(3) ディプロマ・ポリシー

本専攻では、学生がその研究を組織的・体系的に深化させ十分な学問的水準を満たした学位論文を作成して学位を得るために、次のような手順を定めている。

- ・ 専攻として年3回の研究発表会の機会を設けている。各学生の博士論文提出の目標年次にねらいを定めながら、計画に応じて、各回の発表の機会を利用し発表を行うことで、研究の意義と目標、現在の達成度と今後の見通し等について評価を受け、検討を加えることにより、着実に博士論文の全体構想を確認し完成度を高める。
- ・ 提出後の口頭試問。主査1名と副査3名によって、審査を行う。
- ・ 学会誌への投稿・掲載。学生は学位論文提出の時点までに、研究内容の一部を査読付きの学会誌に投稿・掲載し、自らの研究を公にして広く学的評価を受けておかなければならない。

本専攻における学位論文は以上の手順を踏まえるとともに、学位論文審査等の判定基準に示した研究水準を満たす必要がある。

日本語日本文学専攻博士後期課程カリキュラム一覧表

研究分野	授業科目	単位	担当者	摘要
日本文学	古代中世文学特殊講義Ⅰ	4	准教授 東城敏毅	(上代文学の諸問題とその展開)
	古代中世文学特殊講義Ⅱ	4		※
	古代中世文学特殊講義Ⅲ	2	非常勤講師 阿部泰郎	(魔王と生身) ㊦
	古代中世文学課題研究	4		※
	近世近代文学特殊講義Ⅰ	4	教授 山根道公	(近現代文学作品とキリスト教)
	近世近代文学特殊講義Ⅱ	4	教授 山根知子	(近代文学作品研究)
	近世近代文学特殊講義Ⅲ	2		※
	近世近代文学特殊講義Ⅳ	4	教授 綾目広治	(現代文学作品研究)
	近世近代文学課題研究	4	教授 綾目広治 教授 山根知子 教授 山根道公	(近世近代文学の諸問題)
	日本語学	日本語学特殊講義Ⅰ	4	教授 尾崎喜光
日本語学特殊講義Ⅱ		4		※
日本語学特殊講義Ⅲ		4	非常勤講師 瀬間正之 非常勤講師 三宅ちぐさ	(上代の文字表現) ㊦ (語彙の種々相)
日本語学課題研究		4	教授 尾崎喜光	(現代日本語研究の諸問題)
関連	日本思想史特殊講義	4	非常勤講師 八重樫直比古	(『続日本紀』の宣命と仏教)
	日本民俗学特殊講義	4	教授 小嶋博巳	(民俗宗教の歴史と構造の研究)
	和漢比較文学特殊講義	2		※
	キリスト教思想史特殊講義	4		※

(注) 1 このカリキュラムは、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。

2 ※は平成29年度は開講しません。

3 ㊦は集中講義です。

授 業 概 要

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
日 本 文 学	古代中世文学特殊講義Ⅰ	東 城 敏 毅	『万葉集』『古事記』等、上代文学の作品を対象に、現在学界において、どのような問題が考察・検討されているのかを概観し、関連する文献を読みこなしながら、上代文学の諸問題について考察する。また、上代文学の学術論文を読み進めることにより、学術論文の展開方法を身に付けると同時に、上代文学の研究手法・問題点等についても議論する。
	古代中世文学特殊講義Ⅲ	阿 部 泰 郎	仏教を受容した日本では、その象徴である仏像の聖性をめぐって、人間の苦悩や受難を、造られたモノとしての仏像が身代りとなって傷付くという霊験譚が、古代から中世にかけて広く流布していた。また仏像そのものが生ける如来や菩薩として造られ祀られる「生身」信仰が、普遍的なく聖なるものとして出現する。その一方、仏法を滅し障碍しようとする“反仏法”の存在が、たとえば「天狗」という説話上の存在として中世に登場する。それはまた、「第六天魔王」の伝承のような、中世につくりだされたあらたな神話として展開する。そうした、中世日本の＜聖なるもの＞と反＜聖なるもの＞＝＜魔＞の両義的な世界像とその系譜を、中世説話や文学作品、芸能など領域を越えて探究する。
	近世近代文学特殊講義Ⅰ	山 根 道 公	日本近代文学にはキリスト教的、聖書の影響のある作品が多くあるが、そうした中から小説および詩を取り上げ、キリスト教的思想や聖書の象徴表現などに注目して分析、読解を行う作品研究を試みる。さらにそうした作品研究を踏まえて、作家研究にも取り組む。
	近世近代文学特殊講義Ⅱ	山 根 知 子	日本近代文学の作品を対象に、一次資料から二次資料にいたる綿密な調査および系統的な整理を行い、そうした基礎資料の把握を踏まえた本文批評を経て、目的および方法論を明確にした作品論・作家論に取り組みたい。
日 本 語 学	近世近代文学特殊講義Ⅳ	綾 目 広 治	日本近代の小説及び批評の研究を行う。受講生の論文作成に資する文献を読んでいく。
	近世近代文学課題研究	綾 目 広 治 山 根 知 子 山 根 道 公	学生個人の主体的な問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が協力し、集中的、焦点的に取り組む研究の場である。課題に対して、指導の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成の助言と指導を行う。
日 本 語 学	日本語学特殊講義Ⅰ	尾 崎 喜 光	日本語において敬語と同様に対人的配慮を示す補助動詞としての授受表現（「～てあげる」「～てもらう」「～てくださる」等の表現）、中でも最近増加傾向にある依頼場面での「～てもらっていい？」（およびそのバリエーション）に注目し、こうした表現が文学作品においていつ頃から使われ始めているか等について研究する。
	日本語学特殊講義Ⅲ	瀬 間 正 之 三 宅 ち ぐ さ	<p>(瀬間) 郷歌・吏読などの古代朝鮮半島資料、六朝から初唐の漢籍・漢訳仏典などの大陸資料との比較を中心に、記紀万葉風土記がそれぞれに達成した文字表現の方法を、東アジア漢字文化圏の中で捉えることを試みる。</p> <p>(三宅) 語彙の重要性・他の研究分野（文法・文体など）との関わり・研究法・研究成果等を学ぶと同時に、その知識・理解をより深め確かなものとするため、身近な語彙を材料に内省や調査を実践する。また、史的観点から意味分野別に変化の特徴を確認する。</p>

研究分野	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
日本語学	日本語学課題研究	尾 崎 喜 光	各自の問題意識やテーマに、集中的、焦点的に取り組む。この間、博士論文作成に向けての討議を深める。
関 連	日本思想史特殊講義	八重樫 直比古	六国史の2番目の『続日本紀』には奈良時代を中心に、歴代の天皇の発した60余りの宣命が収められている。これらの中には、発布主体の生々しい肉声が聞こえて来るものも含まれている。宣命を通して、8世紀奈良時代の天皇やその周辺における仏教をめぐる思想の一端を明らかにし、通説の是非を考える。
	日本民俗学特殊講義	小 嶋 博 巳	日本の民俗宗教の基本構造と歴史について研究する。とくに、民俗社会における信仰・知識のあり方、仏教をはじめとする成立宗教と民俗宗教の関係に焦点を当てて考察する。

《備考》

この授業概要は、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目、担当教員及び授業概要については変更されることがあります。

人間生活学研究科の概要と特色

本研究科は、修士課程と博士後期課程で構成され、修士課程には人間発達学専攻人間発達学コース、人間発達学専攻臨床心理学コース、食品栄養学専攻、人間生活学専攻の3専攻・2コースが置かれ、博士後期課程には人間複合科学専攻1専攻が設置されている。さらに、修士課程の各専攻・コースには3～5研究分野が設けられ、博士後期課程の人間複合科学専攻には3研究領域が設けられている(表)。修士課程の研究分野と博士後期課程の研究領域との間には密接な関係があり、人間複合科学専攻の精神機能論領域は人間発達学専攻の両コースの研究分野に、保健栄養論領域は食品栄養学専攻の研究分野に、生活文化論領域は人間生活学専攻の研究分野にほぼ対応するものである。

表 人間生活学研究科の構成

修 士 課 程		博 士 後 期 課 程	
専 攻 ・ コ ー ス	研 究 分 野	専 攻	研 究 領 域
人間発達学専攻 人間発達学コース	発 達 基 礎 論 発 達 支 援 論 専 門 関 連 科 目	人間複合科学専攻	精 神 機 能 論
人間発達学専攻 臨床心理学コース	臨 床 心 理 論 研 究 法 分 野 基 礎 分 野 社 会 分 野 精 神 ・ 身 体 分 野		
食品栄養学専攻	栄 養 管 理 学 栄 養 学 食 品 学		保 健 栄 養 論
人間生活学専攻	人 間 社 会 論 人 生 活 文 化 論 生 活 経 営 論 生 活 環 境 論		生 活 文 化 論

本研究科は、本学の建学の精神、すなわちキリスト教精神とリベラル・アーツ教育の伝統に基礎を置き、人間及び人間生活を精神活動、身体維持活動、文化活動の面からとらえ、実生活に即した研究を行うとともに、修士課程においては高度専門職業人を、博士後期課程においては自立した研究者並びに高度の研究能力をもつ専門的な職業人を養成することを目的としている。

この目的を達成するため、修士課程においては、上記3専攻・2コースのいずれかの研究分野で実務的、基礎的研究活動を行う。ここで学生に要求されるのは、研究活動を通して人間と社会の実態を学び、それぞれの専攻分野における社会的、教育的、文化的等の諸問題を把握し、基礎的問題解決能力を身につけること、換言するならば、リサーチマインドを持つことである。

これに対し、博士後期課程の人間複合科学専攻では、修士課程における実務的・基礎的研究活動を基盤にして、広い視点から社会的ニーズの高い研究を行う。ここでは、修士課程の3専攻・2コースが1専攻に統合されている。これは、人間及び人間生活を、精神機能論領域、保健栄養論領域、生活文化論領域の視点から深く、かつ豊かに追究するためである。

人間複合科学専攻博士後期課程の概要と特色

本専攻は、人間及び人間生活にかかわる諸問題を多角的視座をもちつつ考究し、多様な課題に対処しうる高度な学術研究を行うことを目的とする。そのために本専攻では、精神機能論、保健栄養論、生活文化論の3研究領域を設けて、広く人間の精神的・心理的な諸問題、人間とその健康にかかわる諸問題、人間生活の社会的・文化的側面にかかわる諸問題の解決を目指し、必要な授業科目を配置している。各研究領域とそれに連なる授業科目は密接に連携し、それぞれの研究領域や研究領域間における研究課題の開発を行い、学問研究への寄与を目指すとともに、当該領域における高度の専門能力を有した研究者、並びに専門行政官等の高度に専門的な業務に従事しうる人材の養成を目指している。

(1) 人間複合科学専攻のアドミッション・ポリシーと入学前の指導

本専攻では、上の目的を達成するために、精神機能論、保健栄養論、生活文化論にかかわる専門的な知識と研究能力をもつとともに、多様な研究課題に取り組む意欲をもった学生を求めます。また、本専攻では、学生に本学の建学の理念であるキリスト教に関する豊かな知識をもつことも求めています。

本専攻での研究を志望する学生は、本専攻への入学前に研究指導を希望する教員と面談して指導を受け、自らの研究課題や達成目標に輪郭を与え、入学後の研究をスムーズに進めるための準備を行わなければならない。

(2) 人間複合科学専攻のカリキュラム・ポリシー

本専攻では、精神機能論領域に8科目、保健栄養論領域に10科目、生活文化論領域に7科目、計25科目の授業科目を配している。各授業科目は、それぞれの専門分野を包括する独立の教育・研究単位であるが、各々の研究領域やそれらを結んだ新たな研究領域の多様な研究課題に、多角的・融合的に対応することを可能にしている。また、キリスト教に関する理解を深めるための授業科目も用意されている。

学生は、精神機能論、保健栄養論、生活文化論のいずれかの領域に研究の主体を置き、研究課題を策定してその課題に関係のある科目12単位以上を、1研究領域につき最低1科目、複数の研究領域から選んで履修する。研究指導には、主たる履修科目の担当教員（正研究指導担当教員）と他の履修科目の担当教員2名（副研究指導担当教員）が当たり、研究の深化と多角的視座の確保を担保している。

(3) 人間複合科学専攻のディプロマ・ポリシー

本専攻では、学生がその研究を組織的・体系的に深化させ、十分な学問的水準を満たした学位論文を作成して学位を得るために、次のような手順を定めている。

中間評価

2年次の第1期に行うもので、研究の意義と目標、現在の達成度と今後の見通し等について審査を行う。学生はこれに合格して、研究を次の段階にすすめることができる。

最終の中間発表

学位論文提出の4カ月前に行う研究発表で、研究内容についての最終的な確認を行うものである。学生はこの場で、研究の達成度について評価を受け、論文提出の準備にとりかかることになる。

学会誌への投稿・掲載

学生は学位論文提出の時点までに、研究内容の一部を査読付きの学会誌に投稿・掲載し、自らの研究

を公にして広く学的評価を受けておかなければならない。

本専攻における学位論文は以上の手順を踏まえるとともに、「学位規則」ならびに「学位論文審査等の判定基準」に示した研究水準を満たすものでなければならない。

人間複合科学専攻博士後期課程カリキュラム一覧表

研究領域	授 業 科 目	単 位	担 当 者	摘 要
精神機能論	環境行動心理論	4	教授 石原金由	※ (キリスト教思想) ※ ※
	発達生理心理論	4		
	心理学研究法論	4	教授 清板芳子	
	臨床心理論	4	教授 平松清志	
	西欧思想論	4	特別招聘教授 高木孝子	
	生体情報論	4		
	発達言語文化論	4		
	人間性教育論	4	教授 小林修典	
保健栄養論	発達保健論	4	非常勤講師 小田 慈	集 集 ※
	予防栄養論	4	非常勤講師 木本 眞順美	
	栄養環境論	4	教授 戸田 雅裕	
	環境生態栄養論	4	非常勤講師 佐藤 眞一	
	環境微生物論	4	准教授 長濱 統彦	
	生体機能調節論	4	教授 林 泰資	
	食行動生理論	4		
	食品栄養論	4	教授 小林 謙一	
	調理文化論	4	非常勤講師 今田 節子	
	食品機能論	4	教授 北 昌直	
生活文化論	生活経営管理論	4		※ ※ ※ ※
	家族・社会機能論	4	教授 葛生 栄二郎	
	社会福祉論	4	教授 杉山 博昭	
	比較文化論	4		
	民族社会論	4		
	地域文化論	4		
	住環境論	4	教授 上田 恭嗣	
課題研究		4	教授 上田 恭嗣	
			教授 小林 謙一	
			教授 北 昌直	
			教授 葛生 栄二郎	
			教授 小林 修典	
			教授 戸田 雅裕	
			教授 林 泰資	
			教授 平松 清志	
			教授 杉山 博昭	
			准教授 長濱 統彦	

- (注) 1 このカリキュラムは、平成29年度のものであります。したがって、平成30年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。
- 2 ※は平成29年度は開講しません。
- 3 集は集中講義です。

授 業 概 要

研究領域	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
精 神 機 能 論	環境行動心理論	石 原 金 由	生活を取り巻く時間的、物理的、社会的環境は、ヒトの行動や心理状態を規定する大きな要因である。これらの因果関係を解明するため、精神生理学・生理心理学の観点から考究する。とくに、本授業では子どもの睡眠と健康について考えていく。
	心理学研究法論	清 板 芳 子	人間の営みや行動は総じて心理的なダイナミズムや精神活動が具現されたものということもできる。諸領域の研究対象の中に存在する心理学的現象を捉え、これを研究デザインの中に組み込む方法について考究する。
	臨床心理論	平 松 清 志	現代社会は、自然科学の発展によって、かつてないほどの進歩を遂げている。しかし、その反面、人間的な触れ合いの機会が少なくなり、人間関係の疎外も言われている。この現状をどのように理解し、どのように対応したらよいのか、臨床心理学の観点から考える。
	西欧思想論	高 木 孝 子	19世紀の西欧社会は多くの優れた女性思想家を輩出した。そこで本講義では、西欧諸国における女性思想家たちの議論の展開をたどり、キリスト教思想と女性問題について考察していきたい。
	人間性教育論	小 林 修 典	人間性の陶冶は一人ひとりの個性・可能性と環境との相互作用と考え、「青少年が家庭、教育機関、社会とどのように関わり合いながら人間形成を行っていくか」というテーマを追求する。
保 健 栄 養 論	発達保健論	小 田 慈	少子・高齢化社会における小児保健・福祉、成育医療のあり方について、最新の状況をもとに、様々な視点からとりあげ検討し、あるべき姿について知見を深める。
	予防栄養論	木 本 眞 順 美	生命現象あるいはその障害の理解には代謝学の学びが必須となり、その知識は我々が目標とする病気の予防に効果的に働く。本講義においては、代謝学のコア部分を体系的かつ専門的に論述する。同時に、研究史上トピックスとなった研究事例を通して、解説・討論する。
	栄養環境論	戸 田 雅 裕	環境問題は地域レベルから地球規模に至るまで多岐に渡っているが、便利で豊かな現代生活の代償でもあることからその解決は容易ではなく、また各人の立場により捉え方が異なることも問題をより複雑にしている。本講義では日々深刻化する環境問題について認識を深めるとともに、その解決に向け管理栄養士として果たすべき役割を考究する。

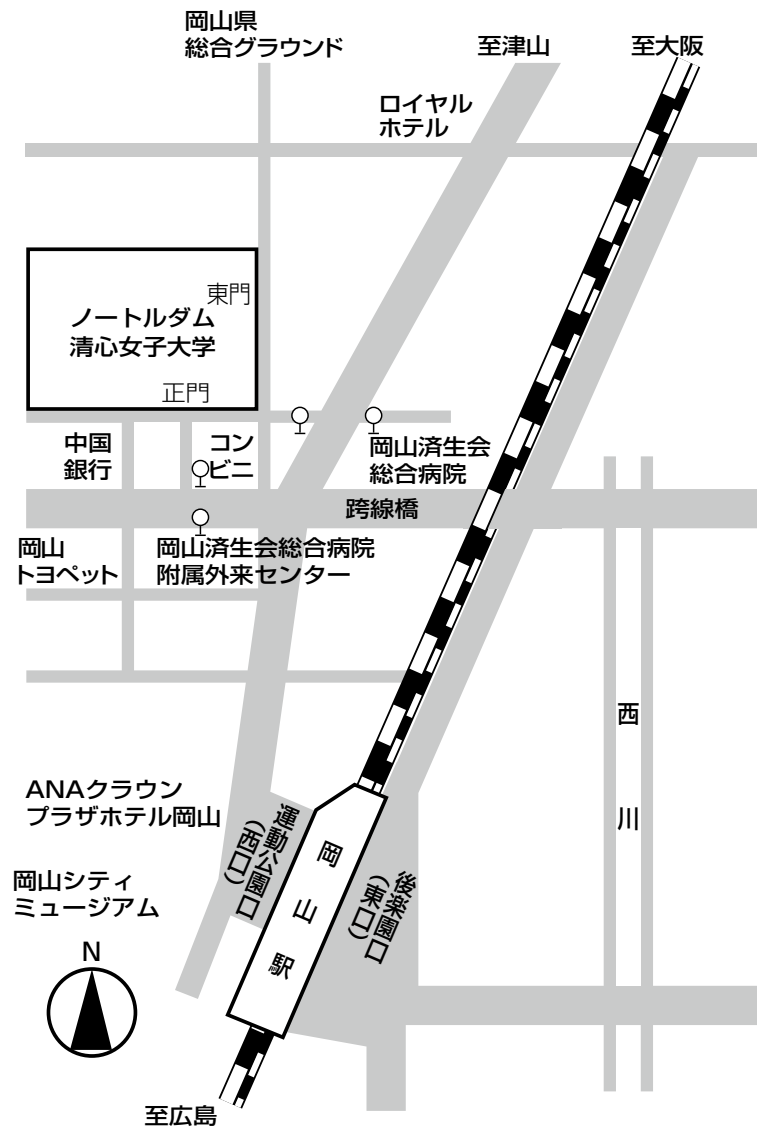
研究領域	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
保 健 栄 養 論	環境生態栄養論	佐 藤 眞 一	県ないし県下各市町村の各種健康指標、栄養摂取関連指標を、全国ないし他都道府県・市町村との比較の中で把握し、栄養施策立案につなげるための方法を学ぶ。学生の興味により、より深い栄養疫学研究手法への展開や、ヘルスプロモーションへの展開について具体的な方法を学ぶ。
	環境微生物論	長 濱 統 彦	自然環境に生息する真菌を中心とした微生物の生態を学び、環境と食品衛生との接点を考察する。微生物が生産する二次代謝産物の分子進化学的解析法を学ぶ。微生物生態学や分子系統学の手法を理解し、食に関わる微生物に適用していく。
	生体機能調節論	林 泰 資	脳の機能は、受容体やイオンチャンネルなどを介した神経細胞相互の情報伝達とその精密な調節により発揮されており、生体の恒常性維持から学習、記憶、情動などの高次神経機能まで担っている。本講義では、人体を総合的に調節する脳機能のうち、特に高次神経機能に焦点をあてて、神経生理学および神経薬理学的観点から考究する。さらに、食品成分の機能や新しい医薬品の可能性について考える。
	食品栄養論	小 林 謙 一	アミノ酸栄養状態の不良およびアミノ酸代謝の異常が、各種疾患の病態とどのような関連性をもっているのかについて、最新の知見をもとに論じるとともに、それらの疾患を予防するための栄養改善の可能性について考究する。
	調理文化論	今 田 節 子	伝統食（海藻、魚介類、大豆類）の特徴を自然・人文・社会科学の学際領域からとらえ、日本の調理文化の特徴を明確にし、その変容と背景および実態を総合的に論述する。さらに今日の健康食としての伝統食の意義についても考察を進める。
	食品機能論	北 畠 直 文	食品の機能として、いわゆる栄養機能、物性機能、生体調節機能があげられる。これらの機能について、事例をあげ、歴史的背景も踏まえながら論究する。さらに、食の社会的機能についても、食品科学的観点から考察し、“食”の必然性について論考したい。
生 活 文 化 論	家族・社会機能論	葛 生 栄二郎	現代社会の家族問題について、とりわけ法や倫理の観点から考察し、あわせて社会において家族の果たす機能に言及する。家族の多元化、ひいては家族の溶解すら叫ばれる現代社会にあって、家族にいかなる法的・倫理的な位置づけを与えるかは、各人の法意識や倫理観念を強く規定する。カトリック的家族倫理のみならず、現代のリベラルな家族観、コミュニタリアンの家族観などを比較検討して、家族のあり方を考えたい。
	社会福祉論	杉 山 博 昭	国際的・国内的な社会状況において、社会福祉学研究が直面している課題について、思想、歴史、政治・経済政策、実践・専門職の観点から検討し、国際的な社会の変容のなかでの、社会福祉の役割と限界を検討する。

研究領域	授 業 科 目	担 当 者	授 業 概 要
生 活 文 化 論	住環境論	上 田 恭 嗣	二十世紀の科学技術の進展によって、日本の住環境のあり方は大きく変容してきた。また、現在もその流れの中に依然としてあり、日本の住まいのありようも一変してきている。巨大に都市化した都市住環境のあり方と、地方都市、地方の市町村における住環境とは、自ずと異なったものである。機能と利便性を第一とした住環境指向ではなく、人の生活を考え住む地域に相応しい住環境施策が改めて求められる時代である。講義では、このような内容について深く検証し、地域に根ざした住環境のあり方について講述する。
	課題研究	各 研 究 指 導 担 当 教 員	それぞれの専門領域における博士論文作成のための継続的指導を行う。

《備考》

この授業概要は、平成 29 年度のものであります。したがって、平成 30 年度においては、開講科目、担当教員及び授業概要については変更されることがあります。

大学案内図



- J R / 岡山駅 (西口) から北へ徒歩約 10 分
- バス / 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで、「済生会病院前」下車

お問い合わせ先

ノートルダム清心女子大学 入試広報部

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9

TEL 086-255-5585 (直通)
FAX 086-255-4117
E-mail apoffice@pluto.ndsu.ac.jp
URL <http://www.ndsu.ac.jp/>